HITACHI
Inspire the Next

Prius
Cモデル

準備をしよう 1
テレビを見よう 2
番組をパソコンに録画する 3
DVDを見る、CDを聴く 4
リモコンを使って操作する 5
設定を変えて、もっと使いやすく 6
映像データを管理、編集しよう 7
テレビQ&A 8
付録

始めよう!
TVエンターテインメント

マニュアルはよく読み、保管してください。

■製品を使用する前に、安全上の説明をよく読み、十分理解してください。
■このマニュアルは、いつでも参照できるよう、手近な所に保管してください。

FLORA

こんなことができます

パソコンでテレビを見る。録画する。DVD を見る。CD を聴く。欲しい情報を手に入れる。あなたの楽しみが、欲しいものが、すべてここにつまっています。

■パソコンでテレビなどを見る

パソコンでテレビや DVD を見たい。
そんなときには、「Prius Navistation」(以下、Navistation) を使ってください。パソコンを使いながらテレビや DVD を見たり、CD を聴いたりすることができます。
付属のリモコンを使うことで、離れた位置からチャンネルを変えたり、音量を調整することもできます。

■放送中の番組を好きなシーンでストップ

テレビを見ている最中に急用ができたときは、「タイムシフト」で番組を一時停止。そして、あなたの都合に合わせて解除。一時停止したところから番組を見ることができます。

■録画を逃さない！

電子番組ガイド「ADAMS-EPG」は新聞のテレビ欄のようなもので、Navistation で見ることができます。テレビ欄の上で録画したい番組を選ぶだけで録画することができます。番組名も自動的に入るので、録画した内容がわからなくなるようなことがありません。

このマニュアルの使い方

このマニュアルは、あなたがパソコンでテレビや DVD を楽しんだり、CD を聴いたりするための案内書です。ここでは、このマニュアルの使い方や読み進め方を説明します。

■「1 章　準備をしよう」
テレビを見るための準備をします。はじめにお読みください。

■「2 章　テレビを見よう」
パソコンでテレビを見る方法を説明しています。

■「3 章　番組をパソコンに録画する」
テレビ番組をパソコンに録画する方法を説明しています。

■「4 章　DVD を見る、CD を聴く」
DVD を見たり、CD を聴いたりする方法について説明しています。

■「5 章　リモコンを使って操作する」
リモコンの使い方について説明しています。

■「6 章　設定を変えて、もっと使いやすく」
いろいろな設定を変更する方法を説明しています。

■「7 章　映像データを管理、編集しよう」
ビデオテープに録画されている映像をパソコンに取り込んだり、パソコンで録画した映像を編集したりする方法について説明しています。

■「8 章　テレビ Q&A 」
テレビ機能についてわからないことがあったら、ここをお読みください。対処方法を説明しています。

■「付録」
マニュアル内で使われている用語の解説や索引、仕様的な内容などを説明しています。

マニュアルの表記について

重要	重要事項や使用上の制限事項を示します。
ヒント	パソコンを活用するためのヒントやアドバイスです。
参照	参照先を示します。
◆	このマークがついている用語は付録の「用語集」で解説します。

マニュアル内で使用している画面およびイラストは一例です。機種によっては、異なる場合があります。説明の都合で、画面のアイコンやイラストのケーブルなど、一部省略している場合があります。

もくじ

このマニュアルの使い方 1
マニュアルの表記について 1
もくじ 2

1章 準備をしよう 5
準備する 6
受信するチャンネルを選ぶ 6

2章 テレビを見よう 9
テレビを見る前に 10
テレビをつける前に知っておこう 10
テレビを見る 11
テレビをつける 11
画面の大きさを変える 12
いろいろな操作はこの画面で 13
音量を調整する 15
チャンネルを変える 15
主音声／副音声を切り替える 16
テレビを消す 16
放送中の番組を操作する 17
番組を一時停止する／解除する 17
今のシーンをもう一度見る 17
好きなシーンにジャンプする 18
ミニ TV 表示で見る 19
ミニ TV 表示にする 19
ミニ TV 表示で操作する 19

3章 番組をパソコンに録画する 21
見ている番組を録画する 22
電子番組ガイドを使って予約録画する 23
準備する 23
電子番組ガイドを受信する 24
予約する 25
予約を取り消す 26
時間を指定して予約録画する 27
携帯電話を使って予約録画する 28
準備する 28
予約する 29
録画した番組を再生する 30
再生する／停止する 30

4章 DVD を見る、CD を聴く 31
DVD を見てみよう 32

再生から停止、取り出しまで 32
DVD のメイン・メニュー画面を表示しよう 33
いろいろな操作はこの画面で 34
言語や字幕を切り替える 35
全画面表示で操作する 35
CD を聴こう 36
再生から停止、取り出しまで 36
いろいろな操作はこの画面で 37
画像データを見る / 音声データを聴く 38
データを見る / 聴く 38

5 章 リモコンを使って操作する 39
リモコンを使う 40

6 章 設定を変えて、もっと使いやすく 45
設定を変えるには 46
変えたいこと一覧 47

7 章 映像データを管理、編集しよう 51
映像データファイルを管理する 52
ディスクにコピーする 52
映像データを削除する 53
映像データを収録、編集、保存しよう 54
必要なマニュアル 54
映像データを収録、編集、保存する流れ 54
映像データをパソコンに取り込む 55
テレビの映像を使って DVD を作成する 58
デジタルビデオテープの映像から DVD を作成する 63
映像データをディスクやデジタル機器に出力する 65

8 章 テレビ Q&A 69

付録 75
引っ越したときは 76
テレビ朝日系列局一覧 (2002 年 4 月現在) 77
用語集 78
さくいん 80

1章

準備をしよう

テレビを見るための準備をしましょう。

接続は『接続と準備』で終わっていますので、

ここでは、受信するチャンネルを選んだり、

電子番組ガイドを受信するための設定をしましょう。

3 準備する

パソコンでテレビを見るために、次の準備をしましょう。
●パソコンとご家庭のアンテナ端子を接続する
●受信するチャンネルを選ぶ
接続は『接続と準備』ですでに行っています。念のため、もう一度『接続と準備』の「5．いろいろな使い方をするために」「テレビを見たい方は」をご覧になり、正しく接続されているか、外れていないかなどをご確認ください。

受信するチャンネルを選ぶ

パソコンでどのチャンネルが受信できるのかを確認し、実際に受信するチャンネルを選びます。受信できるチャンネルは、地域によって異なります。お住まいの地域に合わせて設定してください。

設定画面を表示する

1 パソコンの電源を入れる

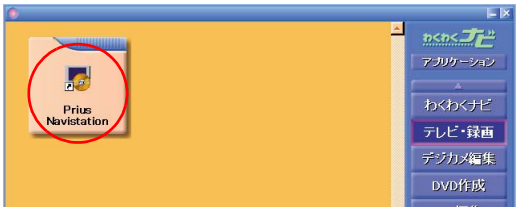
▼パソコンが立ち上がります。

2 デスクトップの [わくわくナビ] アイコンをダブルクリック

▼[わくわくナビ] 画面が表示されます。

3 [テレビ・録画]ー [Prius Navistation] アイテムをクリック

▼[チャンネル設定ユーティリティ◆] 画面が表示されます。



ヒント

★ [テレビ・録画] が表示されない場合は、画面右上の [インターネット] または [困ったときに] をクリックして、[アプリケーション] を選んでください。

★ [チャンネル設定ユーティリティ] 画面は、Navistation をはじめて立ち上げたとき、自動的に表示されます。

お住まいの地域を選ぶ

1 [地域選択] の上側の▼をクリック

▼都道府県名が表示されます。

2 縦に表示された都道府県名の中から、お住まいの県名などをクリック

▼選んだ都道府県名が表示されます。

3 [地域選択] の下側の▼をクリック

▼市名などが表示されます。

4 縦に表示された市区名などの中から、お住まいまたはお近くの市名などをクリック

▼選んだ市名が表示されます。

5 [オートスキャン] ボタンをクリック

▼受信できるチャンネルの検索が始まります。検索した結果は［検出結果］欄に表示されます。[検出結果] 欄の下に「検索終了」と表示されたら、次の手順に進んでください。

ヒント

★ 引っ越しなどで、お住まいが変わった場合は、受信するチャンネルを設定し直す必要があります。

参照

受信するチャンネルの変更方法について→付録「引っ越したときは」

ヒント

★ お住まいまたは、お近くの市名を選ぶと、自動的に受信できるチャンネルの検索始まる場合があります。

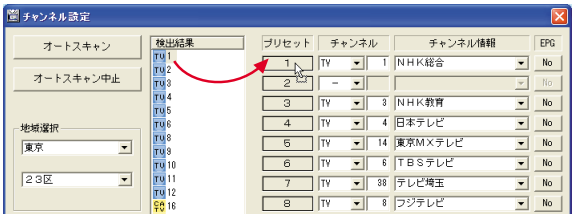
受信するチャンネルを選ぶ

1 [検出結果] 欄の中から受信したいチャンネルを選び、TVまたはCATVを [プリセット] 欄にドラッグアンドドロップする

[検出結果] 欄に表示されているチャンネルをクリックすると、現在放送されている番組が画面表示小窓に表示されます。画面を確認しながら、受信するチャンネルを選んでください。

使用しなかった [プリセット] の番号をメモしてください。このあとの「選んだチャンネルを設定する」で必要です。

▼[チャンネル] 欄に表示されているチャンネル番号が、ドラッグアンドドロップしたマークの番号と同じになります。



2 [チャンネル] 欄に表示されているチャンネル番号と、[チャンネル情報] 欄に表示されているテレビ局名が一致しない場合は、[チャンネル情報] 欄の▼をクリックして、テレビ局名を選ぶ

3 手順 1 ～ 2 を繰り返し、受信したいチャンネルをすべて設定する

4 テレビ朝日系列局の [チャンネル] 欄に表示されている番号をメモする

このあとの「電子番組ガイドの発信元を設定する」で必要です。

5 テレビ朝日系列局の [EPG] 欄に「Yes」と表示されていることを確認する

「No」と表示されている場合は、[No] ボタンをクリックして「Yes」にしてください。

6 [保存して終了] ボタンをクリック

▼設定した内容が保存され、[チャンネル設定ユーティリティ] 画面が閉じます。[Prius Navistation(以下、Navistation◆)] 画面が表示されます。

ヒント

★ [検出結果] 欄に表示されるTVは UHF◆ /VHF◆のチャンネル、CATVはケーブルテレビのチャンネルを表します。

★ プリセット番号とチャンネル番号を合わせる必要はありませんが、合わせておくと、実際にテレビを見るときに便利です。

ヒント

★ ▼をクリックしたときに表示される情報は、2002 年 4 月 1 日現在のものです。

重要

◎ テレビ局名は、手入力しないでください。

◎ 受信できるチャンネル数は、全部で 18 チャンネルです。

参照

テレビ朝日系列のチャンネル→付録「テレビ朝日系列局一覧 (2002 年 4 月現在)」

重要

◎ Navistation の [設定] 画面から立ち上げたときは、[Navistation] 画面は表示されません。

2章

テレビを見よう

準備がすべてできました。さあ、テレビを見てみましょう。

ご家庭でテレビを見るような使い方はもちろんのこと、

好きなシーンで映像を止めたり、巻き戻したり、

あなたの好きなように操作できます。

テレビを見る前に

テレビを見るには、２つの方法があります。
ここでは、それぞれの概要について説明しています。

テレビをつける前に知っておこう

テレビを見るには、次の２つの方法があります。

■タイムシフト

Navistation でテレビを見る場合の通常の方法です。
放映中のデータを一度パソコンのハードディスクに取り込んでから画面に映します。このため、現在放映中の番組を一時停止したり、巻き戻したりできます。

■ミニ TV 表示

Navistation の画面サイズを小さくして、放映中のデータをそのまま画面に映します。ほかのアプリケーションの画面を開きながら、テレビが見られます。

ヒント

★ テレビをタイムシフトで表示しているため、実際のテレビの映像から約 3 秒遅れて表示されます。

参照

この方法での見方→本章の「テレビを見る」

参照

この方法での見方→本章の「ミニ TV 表示で見る」

重要

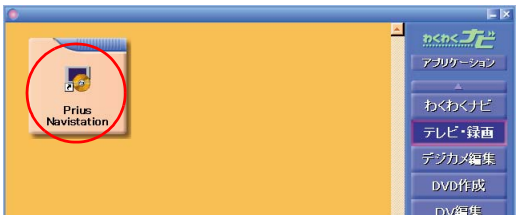
◎ ほかのアプリケーション画面を開きながらテレビを見ると、こま落ちが起こる場合があります。

テレビを見る

ここでは、テレビのつけかた／消しかたや音量の調整などの操作方法を説明しています。

テレビをつける

1 デスクトップの [わくわくナビ] アイコンをダブルクリックし、[わくわくナビ] 画面で［アプリケーション］を選び、[テレビ・録画]ー [Prius Navistation] ボタンをクリック



▼[Navistation] 画面が表示されます。

2 [テレビ＆録画] ボタンをクリック

▼テレビの映像が表示されます。

ヒント

★ デスクトップの [Prius Navistation] アイコンをダブルクリックしても立ち上げられます。

★ Navistation のもっとも良い性能を引き出すため、Navistation 以外のプログラムを閉じることをお勧めします。

ヒント

★ テレビの映りが悪い場合は、市販のブースター◆などの装置をご使用ください。

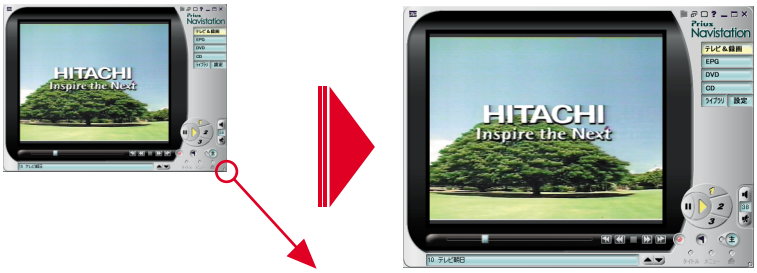
画面の大きさを変える

[Navistation] 画面を見やすい大きさに変更することができます。

画面を好きな大きさに拡大／縮小する

1 **[Navistation] 画面の右下をポイントし、マウスポインターの形を ⤡ に変え、好みの大きさになるまでドラッグ**

▼画面の大きさが変わります。



ディスプレイ全体に映像を表示する

1 **[Navistation] 画面右上の ▢ をクリック**

▼ディスプレイ全体に映像が表示されます。

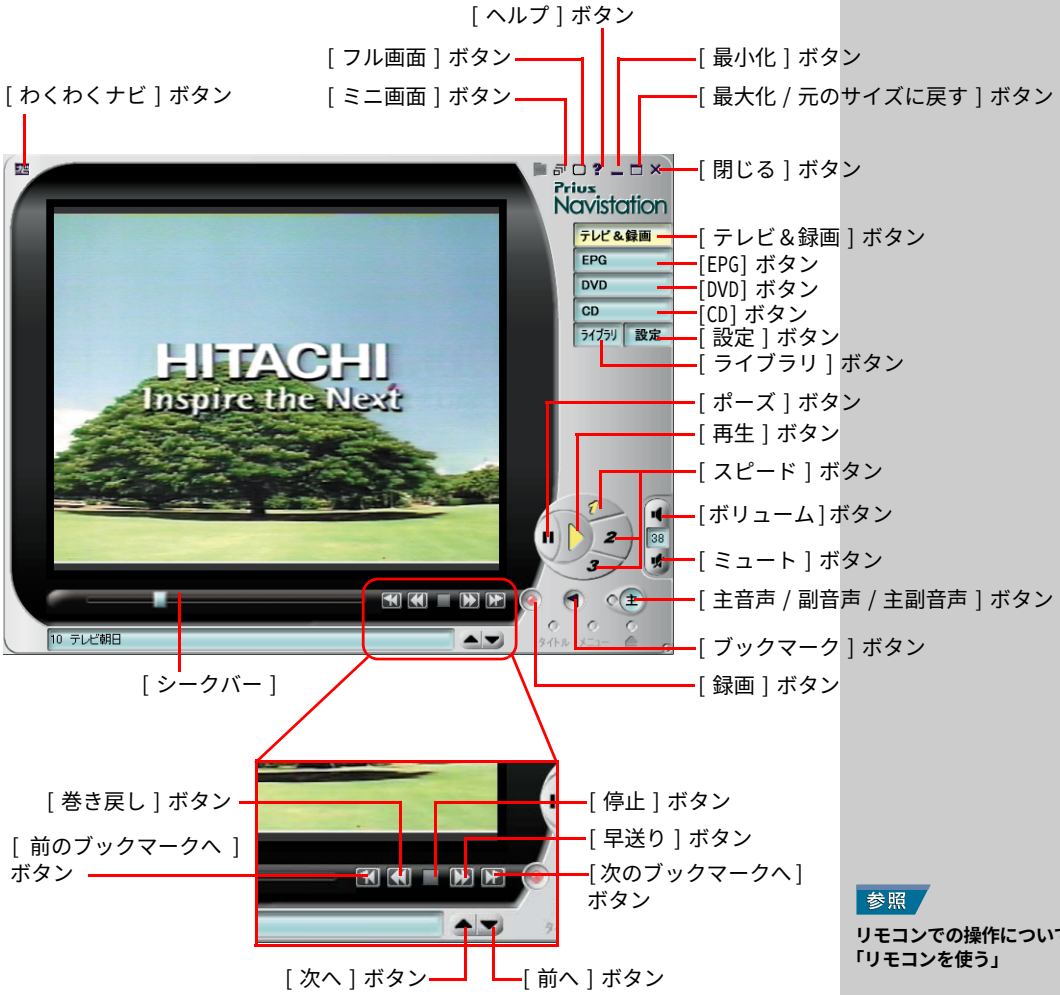
2 **元に戻す場合は、キーボードの [Esc] キーを押す**

ヒント

★ リモコンの [全画面] ボタンを押しても、同じ操作ができます。

いろいろな操作はこの画面で

操作はこの画面から行います。リモコンやキーボードでも操作できます。



参照

リモコンでの操作について→ 5 章の「リモコンを使う」

[再生] ボタン	： 録画した映像を再生します。
[ポーズ] ボタン	： 一時停止をします。解除するときは、[再生] ボタンをクリックしてください。
[スピード] ボタン	： 再生スピードを変更します。
[ボリューム] ボタン	： 音量を調整します。
[ミュート] ボタン	： 音を消します。解除するときは、もう一度クリックしてください。
[主音声／副音声／主副音声] ボタン	： 主音声／副音声を切り替えます。
[ブックマーク] ボタン	： ブックマークを追加／削除します。
[前へ] ボタン	： チャンネルを 18 → 17 →…1 → 18 の順に切り替えます。
[次へ] ボタン	： チャンネルを 1 → 2 →…18 → 1 の順に切り替えます。
[録画] ボタン	： 画面に表示されている番組を録画します。

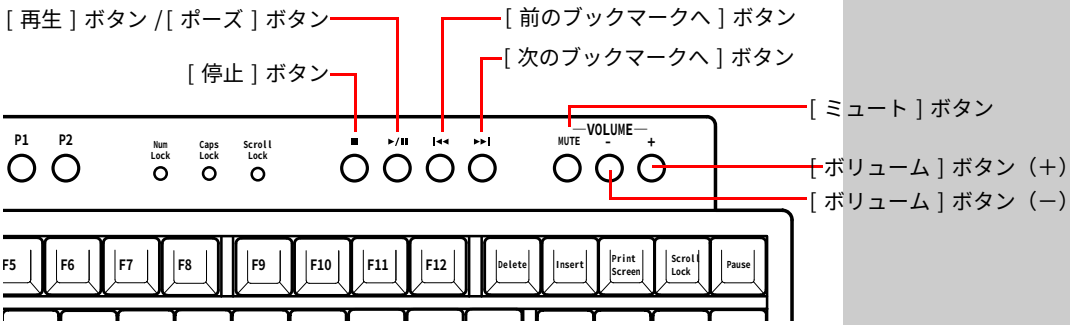
参照

ブックマークについて→ 2 章の「好きなシーンにジャンプする」

[前のブックマークへ] ボタン／[次のブックマークへ] ボタン	：ブックマークにジャンプします。
[早送り] ボタン	：早送りをします。解除するときは、[再生] ボタンをクリックしてください。
[巻き戻し] ボタン	：巻き戻しをします。解除するときは、[再生] ボタンをクリックしてください。
[停止] ボタン	：再生を停止します。
[シークバー]	：左右へドラッグすると好きなシーンへジャンプします。
[閉じる] ボタン	：[Navistation] 画面を閉じます。
[最大化／元のサイズに戻す] ボタン	：[Navistation] 画面を最大化します／元のサイズに戻します。
[最小化] ボタン	：[Navistation] 画面を最小化します。
[ヘルプ] ボタン	：ヘルプを表示します。
[フル画面] ボタン	：テレビの映像をデスクトップ全体に表示します。元に戻すときは、キーボードの [Esc] キーを押します。
[ミニ画面] ボタン	：テレビの映像を小さく表示(ミニ TV 表示)します。
[テレビ＆録画] ボタン	：テレビの映像を表示します。
[EPG] ボタン	：電子番組ガイドを表示します。
[DVD] ボタン	：DVD を見るときに使います。
[CD] ボタン	：CD を聴くときに使います。
[ライブラリ] ボタン	：録画した番組を再生するときに使います。
[設定] ボタン	：[設定] 画面を表示します。
[わくわくナビ] ボタン	：[わくわくナビ] 画面を表示します。

キーボードで操作する

録画画面再生時、キーボードのキーに Navistaion のボタンが、次のように割り当てられます。キーを押すと、対応する Navistation のボタンをクリックしたときと同じ操作ができます。



音量を調整する

1 **[ボリューム] ボタン、[ミュート] ボタンのどちらかをクリック**

[ボリューム] ボタン　：クリックして表示されたバーを上下にドラッグして、音量を調整します。

[ミュート] ボタン　：音を消します／解除します。音が消えている間は、映像画面に「ミュート」と表示されます。

チャンネルを変える

1 **[次へ] ボタン、[前へ] ボタンのどちらかをクリック**

[次へ] ボタン　：チャンネルを 1 → 2 →…18 → 1 の順に切り替えます。

[前へ] ボタン　：チャンネルを 18 → 17 →…1 → 18 の順に切り替えます。

ヒント

★ この方法で調整しても音が小さい場合は、パソコンの音量を調整してください。

参照

音量調整について→『パソコン入門』の「6. TV や CD を楽しもう」「音量を調整する」

ヒント

★ 表示したいチャンネルを直接選ぶこともできます。
[Navistation] 画面下のチャンネル名をクリックします。
チャンネルメニューが表示されますので、表示したいチャンネルをクリックし、[選択] ボタンをクリックしてください。

主音声／副音声を切り替える

1 [主音声／副音声／主副音声] ボタンをクリック

▼クリックするたびに [主音声] → [副音声] → [主副音声] の順に切り替わります。

主音声	： 受信している番組を主音声で聴くことができます。
副音声	： 2 つ以上の音声で放送されている番組の場合、副音声で聴くことができます。
主副音声	： 2 つ以上の音声で放送されている番組の場合、主音声と副音声を同時に聴くことができます。

テレビを消す

1 [×] ボタンをクリック

▼[Navistation] 画面が閉じます。

ヒント

★ 音声の切り替えには数秒かかります。

放送中の番組を操作する

ここでは、見ている番組をタイムシフト機能◆で一時停止する方法や、巻き戻す方法を説明します。

番組を一時停止する／解除する

放送中の番組を、一時停止することができます。一時停止している間の番組は、パソコン内部のハードディスクに録画されます。一時停止を解除すると、ハードディスクに録画しておいた番組が再生されます。そのあと最後まで番組が見られます。

1 [ポーズ] ボタンをクリック

▼番組が一時停止します。

2 解除するときは、[再生] ボタンをクリック

▼一時停止が解除され、番組が再開します。

3 放送中の映像に追いつくには、[早送り] ボタンをクリック

▼映像が早送りで再生されます。放送中の映像に追いつくと、通常の再生スピードに戻ります。

今のシーンをもう一度見る

ビデオテープを巻き戻すように、放送中の番組を巻き戻すことができます。

ヒント

★ 一時停止できる時間は、最初は 5 分間に設定されています。5 分間一時停止すると、ハードディスクを約 300MB 使用します。一時停止できる時間は、変えることができます。

★ 設定した一時停止時間（設定を変えなければ 5 分）を経過すると、一時停止が解除されます。

★ 再生スピードは、変えることができます。再生スピードによっては、無音でのスキップ再生、スロー再生になります。

参照

再生スピードの変更方法について→ 6 章「設定を変えて、もっと使いやすく」

ヒント

★ [スピード] ボタンの 2 または 3 をクリックするか [次のブックマークへ] ボタンを数回クリックしても、放送中の映像に追いつきます。

★ 記録時間（巻き戻しできる時間）は、最初は 5 分間に設定されています。記録時間が 5 分に設定されていると、ハードディスクを約 300MB 使用します。

参照

記録時間の変更方法について→ 6 章「設定を変えて、もっと使いやすく」

1 [巻き戻し] ボタンをクリック

▼番組が巻き戻されます。

2 巻き戻しを止めて再生するときは、[再生] ボタンをクリック

3 放送中の映像に追いつくには、[早送り] ボタンをクリック

▼映像が早送りで再生されます。放送中の映像に追いつくと、通常の再生スピードに戻ります。

ヒント

★ [スピード] ボタンの 2 または 3 をクリックするか [次のブックマークへ] ボタンを数回クリックしても、放送中の映像に追いつきます。

好きなシーンにジャンプする

好きなシーンには、「ブックマーク◆」という印をつけておきましょう。印をつけたシーンにジャンプすることができます。
また [シークバー] を左右へドラッグすると好きなシーンへジャンプすることができます。

ヒント

★ [シークバー] はタイムシフト状態と録画ファイルの再生時にのみ表示されます。

1 [ブックマーク] ボタンをクリック

▼ブックマークをつけた場所が記録されます。

つけたブックマークを削除するときは、画面中央に「ブックマーク n」と表示されているうちに、もう一度 [ブックマーク] ボタンをクリックしてください。

ヒント

★ ブックマークは、複数つけることができます。

★ [ブックマーク n]：n はブックマーク番号です。

★ 一度テレビを消したり、タイムシフトの設定時間を超えた場合は、ブックマークは削除されます。

2 ブックマークをつけたシーンにジャンプするときは、[前のブックマークへ] ボタンをクリック

3 ブックマークを複数つけたときは、[前のブックマークへ] ボタンまたは [次のブックマークへ] ボタンをクリックして、好きなシーンにジャンプ

4 放送中の映像に追いつくには、[早送り] ボタンをクリック

▼映像が早送りで再生されます。放送中の映像に追いつくと、通常の再生スピードに戻ります。

ヒント

★ [スピード] ボタンの 2 または 3 をクリックするか [次のブックマークへ] ボタンを数回クリックしても、放送中の映像に追いつきます。

ミニ TV 表示で見る

ここでは、Navistation をミニ TV 表示◆にしてパソコンを使いながら TV を見る方法と、その操作を説明します。

ミニ TV 表示にする

1 [Navistation] 画面右上の をクリック

▼ミニ画面に映像が表示されます。

2 元に戻す場合は、ミニ画面右上の をクリック

ミニ TV 表示で操作する

ミニ TV 表示にしても、次の方法でチャンネルの変更や音量調整ができます。

1 ミニ TV 表示の画面の をクリック

▼操作バーが表示されます。

重要

◎ ミニ TV 表示のときは、タイムシフト機能の巻き戻し、早送りは使用できません。

◎ 予約録画で録画が開始すると、元の表示に戻ります。

ヒント

★ ミニ画面の右下をポイントし、マウスポインターの形を ↘ に変えてドラッグすると、好みの大きさに変更できます。

2 チャンネルを変更する場合は、[次へ] ボタン、[前へ] ボタンを、音量を調整する場合は、[ボリューム] ボタン、[ミュート] ボタンをクリック

[ボリューム] ボタン	：	クリックして表示されたバーを上下にドラッグして、音量を調整します。
[ミュート] ボタン	：	音を消します／解除します。音が消えている間は、映像画面に「ミュート」と表示されます。
[次へ] ボタン	：	チャンネルを 1 → 2 →…18 → 1 の順に切り替えます。
[前へ] ボタン	：	チャンネルを 18 → 17 →…1 → 18 の順に切り替えます。
[一時停止] ボタン	：	一時停止をします。解除するときは、[再生] ボタンをクリックしてください。
[再生] ボタン	：	録画した映像を再生します。

ヒント

★ **ミニ TV でタイムシフトを使用していないときは、「再生」「一時停止」機能は使用できません。**

3章

番組をパソコンに録画する

パソコンでテレビ番組を録画してみましょう。

テレビを見ている最中に録画ができるのはもちろんのこと、

電子番組ガイドを使うと、好きな番組を選んで

ダブルクリックするだけで、予約録画ができます。

見ている番組を録画する

ここでは、見ている番組を録画する方法について説明します。

1 録画したい番組が映っている状態で、[録画] ボタンをクリック

▼録画が始まります。

2 録画を終了するときは、[停止] ボタンをクリック

▼録画が終了します。

重要

◎ タイムシフト視聴中や一時停止中、一時停止を解除した状態で [録画] ボタンをクリックすると、見ている場面からではなく、実際の放送中の場面から録画されます。

◎ 録画した番組は、ハードディスクに保存されます。1 時間録画すると、ハードディスクを録画品質 [標準] の場合に約 1.8GB、[高画質] の場合に約 3.6GB 使用します。

◎ 録画した番組は、標準で次のフォルダーに保存されます。[マイコンピュータ]-[共通ドキュメント]-[PriusNavistation]-[Record]

ヒント

★ 録画ボタンを押すと、一時的に画面が暗くなります。

参照

録画品質の変更について→ 6 章「設定を変えて、もっと使いやすく」

重要

◎ 録画中にWindowsの [ユーザーの切り替え] を行った場合、正常に録画を続けることはできません。[ユーザーの切り替え] を行う前に録画と再生を中止して、Navistation を終了してください。

参照

録画した番組を見る→ 3 章の「録画した番組を再生する」

電子番組ガイドを使って予約録画する

ここでは、電子番組ガイド◆を使って予約録画をする方法と、予約した内容を確認する方法を説明します。

準備する

1 電子番組ガイドを受信する

予約録画を行うには、電子番組ガイドを受信しておく必要があります。
電子番組ガイドを受信していない場合は、受信してください。

2 画面右下のタスクバーに表示されている時刻と年月日が正しいことを確認する

時刻にマウスポインターを重ねると、年月日が表示されます。

3 自動ログオン設定を確認する

ユーザアカウントが一つの場合は、設定する必要はありません。
パソコンを複数のユーザーで共用している場合に予約録画を行うには、いずれかのユーザーがログオンした状態にします。パソコンを使えるようにした時に、指定したユーザーが自動ログオンするように設定します。自動ログオンの設定をしていない場合は、設定を行ってください。

重要

◎ 録画したい番組が始まる 10 分前には、「予約する」の最後までの手順を完了させてください。10 分以内に番組が始まってしまう場合は、この方法では予約録画できません。

参照

受信の設定について→ 1 章の「受信するチャンネルを選ぶ」
受信の方法について→「電子番組ガイドを受信する」

重要

◎ 時刻や年月日が間違っている場合は、時刻をダブルクリックし、正しく設定し直してください。

参照

時刻の設定方法について→『パソコン入門』の「2. ウィンドウとデスクトップを使おう」「タスクバーを使う」

重要

◎ ユーザーアカウントが一つの場合でも、パスワードを設定しているときは自動ログオン設定を行ってください。

参照

自動ログオンの設定方法について→『パソコン入門』の「4. コントロールパネルを使う」「一台のパソコンを複数の人で使う」「自動的にユーザーの画面を立ち上げる」

重要

◎ 予約録画を実行するためには、予約したユーザー、もしくは同等の予約を行うことのできるユーザーで自動ログオンするように設定してください。

◎ パソコンをスタンバイ◆や休止状態にして予約録画をする場合には、[電源オプションのプロパティ] 画面－ [詳細設定] タブの [スタンバイから回復するときにパスワードの入力を求める] のチェックを外してください。

電子番組ガイドを受信する

1 [EPG] ボタンをクリック

2 受信済みの電子番組ガイドが表示される

受信時期によっては、番組欄がほとんどありません。

3 EPG plus ロゴをクリック

▼インターネットへの接続を確認する画面が表示されます。

4 [はい] ボタンをクリック

▼最新の電子番組ガイドが受信されます。

重要

◎ 電子番組表のデータはインターネット経由でADAMSから取りこみます。電子番組ガイドを受信するには、あらかじめインターネットに接続しておいてください。

◎ 電子番組表のデータをはじめて受信する場合は、ADAMS-EPG+(Plus) へのユーザー登録が必要です。表示されるADAMS-EPG+(Plus) ホームページの指示に従ってユーザー登録を行ってください。

ヒント

★ はじめて [EPG] ボタンをクリックしたときは、何も受信していないため、番組欄には何も表示されません。

★ 番組予定表は、最大 7 日分のデータを受信することができます。

重要

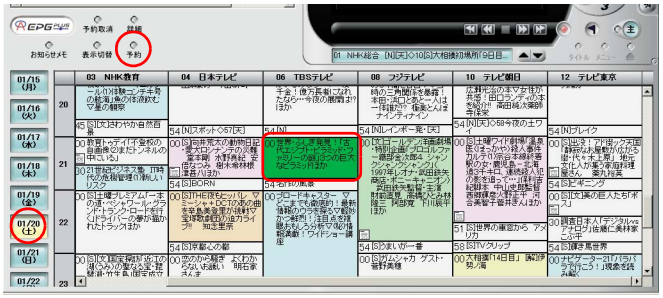
◎ 放送局によって、番組予定表のデータ受信日数が異なります。

予約する

録画したい番組を画面でクリックするだけで、チャンネルや放送時間が記録されます。時間がくると録画が始まります。
パソコンの電源が入っていなくても、時間がくると自動でパソコンの電源が入り、録画が始まります。

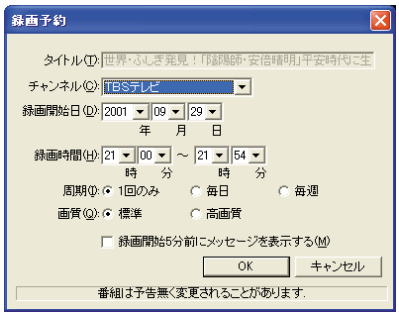
1 [Navistation] 画面の [EPG] ボタンをクリック

2 録画したい番組の放送日と番組名をクリックし、[予約] ボタンをクリック



▼[録画予約] 画面が表示されます。

3 内容を確認し、[OK] ボタンをクリック



▼内容が保存され、[録画予約] 画面が閉じます。

ヒント

★ [表示切替] ボタンをクリックすると、番組を一覧表示することができます。

★ 表示されていない部分の番組ガイドを見るには、画面右側と下側のスクロールバーをスクロールしてください。

★ 放送時間の延長などで、録画終了時間が変更する場合は、時間を指定して予約してください。

参照

時間を指定する→ 3 章「番組をパソコンに録画する」

ヒント

★ [周期][画質] は、必要に応じて変更してください。

★ [Navistation] 画面左上には、予約した番組が一覧表示されます。

重要

◎ 録画した番組は、パソコン内部のハードディスクに保存されます。1 時間録画すると、ハードディスクを録画品質 [標準] の場合に約 1.8GB、[高画質] の場合に約 3.6GB 使用します。

◎ 録画に必要なハードディスクの空き容量がなくなる約 5 分前に、警告メッセージが表示されます。この時間が経過すると、録画が停止します。警告メッセージを表示するタイミングは、変えることができます。

参照

警告メッセージを表示するタイミングの変更方法について→ 6 章「設定を変えて、もっと使いやすく」

重要

◎ 次の場合は録画されません。
- ユーザ選択画面「ようこそ」でとまっている場合
- コンセントを抜いた
- 停電など

予約を取り消す

1 **[予約一覧] 欄で取り消したいタイトル名をクリックし、[予約取消] ボタンをクリック**

▼確認画面が表示されます。

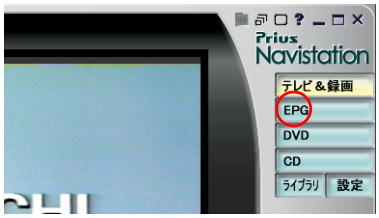
2 **[はい] ボタンをクリック**

▼録画予約が取り消されます。

時間を指定して予約録画する

ここでは、時間やチャンネルなどを直接指定して予約録画する方法について説明します。

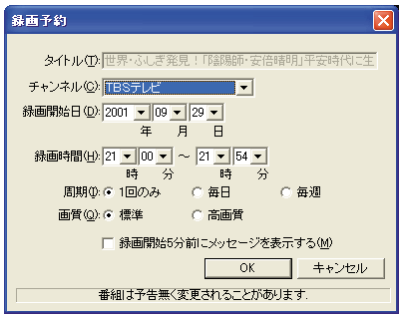
1 [Navistation] 画面の [EPG] ボタンをクリック



2 [予約] ボタンをクリック

▼[録画予約] 画面が表示されます。

3 各項目を指定する



[**タイトル**] ： [チャンネル] を設定すると、入力できるようになります。番組のタイトルなどを入力します。

[**チャンネル**] ： ▼をクリックして、チャンネルを指定します。

[**録画開始日**] ： ▼をクリックして、録画開始日を指定します。

[**録画時間**] ： ▼をクリックして、録画の開始／終了時刻を指定します。

[**周期**] ： 録画する周期を選択します。

4 [OK] ボタンをクリック

▼設定した内容が保存され、[録画予約] 画面が閉じます。

重要

◎ 録画した番組は、ハードディスクに保存されます。1 時間録画すると、ハードディスクを録画品質 [標準] の場合に約 1.8GB、[高画質] の場合に約 3.6GB 使用します。

◎ 録画に必要なハードディスクの空き容量がなくなる約 5 分前に、警告メッセージが表示されます。この時間が経過すると、録画が停止します。警告メッセージを表示するタイミングは、変えることができます。

参照

警告メッセージを表示するタイミングの変更方法について→ 6 章「設定を変えて、もっと使いやすく」

参照

予約を解除するには→「予約を取り消す」

携帯電話を使って予約録画する

ここでは、携帯電話を使って予約録画をする方法について説明します。

準備する

携帯電話を使って予約録画をするために、パソコンに録画予約メールソフト「reserMail」を設定します。

1 パソコンを立ち上げます

▼[reserMail 初期設定] 画面が表示されます。

2 [新規ユーザー] ボタンをクリック

インターネットエクスプローラが立ち上がり、録画予約サービスの会員登録ページが表示されます。指定された必要項目を入力して、ID とパスワードを取得します。

3 初期設定項目を入力する

取得した ID とパスワードを [アカウント登録] 欄に入力します。

予約確認や録画完了のメールを受け取りたい場合は、[録画予約確認送付用メールアドレス] にメールアドレスを入力します。

通常使っているインターネット接続先を [接続先] で指定します。

[登録] ボタンをクリックするとインターネットに自動的に接続して、登録情報が送信されます。

重要

◎ 予約録画のできる携帯電話は、NTT ドコモ「i モード」対応機種、もしくは J-PHONE「J-SKY」対応機種となります。

重要

◎ [reserMail 初期設定] 画面は、「reserMail」の設定を行うまではパソコンが立ち上げる時に毎回表示されます。

重要

◎ 取得した ID とパスワードは、メールで届きます。メールソフトを立ち上げておいてください。

4 起動タイマーを設定する

初期設定が完了すると［reserMail 設定］画面が表示されます。携帯電話からの録画予約を確認するために、「reserMail」は定期的にインターネットに接続します。予約確認の間隔を「30分」「1時間」「2時間」「4時間」「8時間」「12時間」の中から選びます。［設定］ボタンをクリックすると「reserMail」が起動します。

5 携帯電話の録画予約設定をする

「reserMail」の設定が終わったら、携帯電話で録画予約ができるように設定します。

NTT ドコモ「i モード」対応機種の携帯電話の場合

［i menu」の［メニューリスト］－［音楽/TV/FM］－［TV番組情報］で［i テレビ］を開きます。
［会員のページ］－［録画予約の設定］を選択し、「reserMail」のユーザーIDとパスワードを入力して、［登録］をクリックします。［録画予約設定が完了しました］のメッセージが表示されます。

J-PHONE「J-SKY」対応機種の携帯電話の場合

［メインメニュー］の［TV・メディア］で［J テレビ］を開きます。
［メンバーページ］－［録画予約の設定］を選択し、「reserMail」のユーザーIDとパスワードを入力して、［登録］をクリックします。［録画予約設定が完了しました］のメッセージが表示されます。

予約する

「i テレビ」「J テレビ」で、TV番組の詳細情報に表示される［録画予約］をクリックすると、録画予約がパソコンの「reserMail」に送信されます。パソコンで「reserMail」を正しく動作させるためには、スタンバイや休止状態など節電状態にならないように設定する必要があります。

ヒント

★「reserMail」を常時起動させておくために、［Windows 起動時に reserMail を自動的に起動する］にチェックマークを付けておきます。

重要

◎「reserMail」を常時起動させるためには、自動ログオン設定が必要です。

参照

自動ログオンの設定方法について→『パソコン入門』の「4. コントロールパネルを使う」「一台のパソコンを複数の人で使う」「自動的にユーザーの画面を立ち上げる」

重要

◎「reserMail」の設定時に［録画予約確認送付用メールアドレス］を指定している場合は、録画予約確認メールが届きます。

◎「reserMail」は、設定した間隔でインターネットに接続して予約確認を行います。録画予約は「reserMail」の予約確認間隔以上の余裕をもって行ってください。例えば予約確認の間隔を「30分」に設定している場合、番組開始の30分以上前に録画予約する必要があります。

◎ 携帯電話を使った録画予約は取り消すことができません。

参照

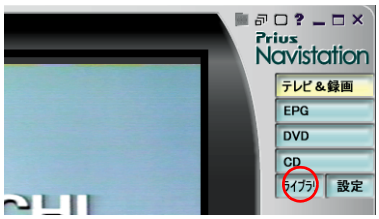
節電機能を使わないようにする→電子マニュアル『パソコン応用』2章の「節電機能を使わないようにするとき」

録画した番組を再生する

ここでは、録画した番組を再生する方法と、音量調整、早送り／巻き戻しの方法などについて説明します。

再生する／停止する

1 [ライブラリ] ボタンをクリック



2 再生したい映像が保存されているフォルダー◆をクリック
標準では、[Record] フォルダーをクリック

3 再生したいタイトルをダブルクリック

▼再生が始まります。

4 停止するときは、[停止] ボタンをクリック

▼映像が消えます。

4章

DVDを見る、CDを聴く

パソコンでDVDやCDを楽しみましょう。

ヘッドホンや専用端子にAVシステムを接続して、

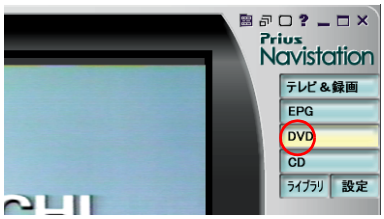
大迫力のサウンドを楽しむこともできます。

DVD を見てみよう

ここでは、DVD ◆を見る方法を説明します。
パソコンにお手持ちのヘッドホンを接続すると、ドルビーヘッドホンのリアルで迫力のあるデジタルサウンドが楽しめます。

再生から停止、取り出しまで

1 Navistation が立ち上がっている状態で DVD を入れ、[DVD] ボタンをクリック



▼DVD が再生されます。

2 停止するときは、[停止] ボタンをクリック

[停止] ボタン　[イジェクト] ボタン

3 DVD を取り出すときは、[イジェクト] ボタンをクリック

参照

電子マニュアル『パソコン応用』3 章の「ヘッドホン、マイクを接続する」
ドルビーヘッドホンの設定について→ 6 章の「変えたいこと一覧」

重要

◎ DVD ビデオレコーダーや DVD-CAM などの「DVD ビデオレコーディング規格」で録画された DVD-RAM メディアは、Navistation では再生できません。これらの DVD を再生する場合は、DVD-MovieAlbum をご利用ください。

◎ DVD 再生中に Windows の [ユーザーの切り替え] を行った場合、DVD 再生は自動的に停止します。停止すると次回は先頭からの再生になります。DVD 再生中は [ユーザーの切り替え] を行わないでください。

DVDのメイン・メニュー画面を表示しよう

DVDによっては、メイン・メニュー画面でチャプターリストを見たり、音声や字幕を切り替えることができます。

1 再生中に、[メニュー] ボタンをクリック

▼メイン・メニュー画面が再生されます。

2 好きなメニューをクリック

▼クリックした先にジャンプします。

3 通常のDVD再生に戻すには、[再生] ボタンをクリック

いろいろな操作はこの画面で

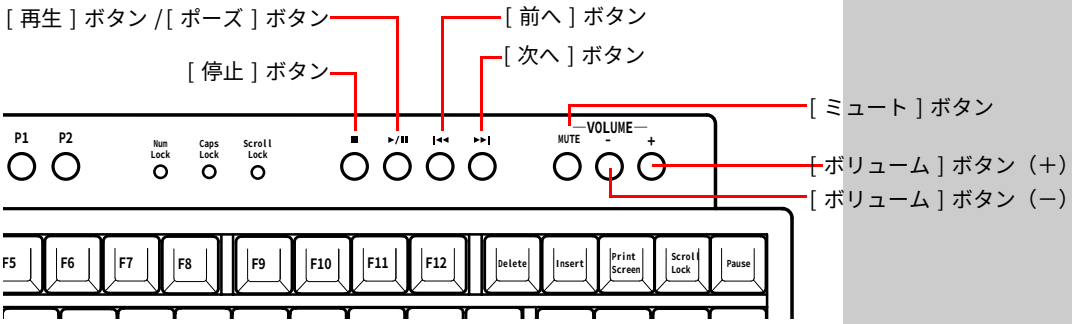
操作はこの画面で行います。リモコンやキーボードからも操作できます。

[ポーズ] ボタン
[再生] ボタン
[ボリューム]ボタン
[ミュート] ボタン
[ステレオ] ボタン
チャプター表示
[タイトル]ボタン
[巻き戻し] ボタン
[次へ] ボタン
[早送り] ボタン
[前へ] ボタン

[ポーズ] ボタン	：	一時停止をします。解除するときは、[再生] ボタンをクリックしてください。
[再生] ボタン	：	DVD を再生します。
[ボリューム] ボタン	：	音量を調整します。
[ミュート] ボタン	：	音を消します。解除するときは、もう一度クリックしてください。
[ステレオ] ボタン	：	使用できません。
[タイトル] ボタン	：	DVD タイトルを表示します。
[次へ] ボタン	：	次のチャプターにジャンプします。
[前へ] ボタン	：	前のチャプターにジャンプします。
[早送り] ボタン	：	早送りをします。解除するときは、[再生] ボタンをクリックしてください。
[巻き戻し] ボタン	：	巻き戻しをします。解除するときは、[再生] ボタンをクリックしてください。
チャプター表示	：	再生中のチャプターが表示されます。クリックすると、再生したいチャプターを直接選ぶことができます。

キーボードで操作する

DVD 再生時、キーボードのキーに Navistaion のボタンが、次のように割り当てられます。キーを押すと、対応する Navistation のボタンをクリックしたときと同じ操作ができます。



参照

リモコンでの操作について→ 5 章の「リモコンを使う」

重要

◎ [タイトル] ボタンが使えない DVD もあります。

言語や字幕を切り替える

1 再生中に、画面上で右クリック◆2

▼メニューが表示されます。

2 目的に合わせてメニューをクリック

全画面表示で操作する

DVD の再生画面を、全画面表示に切り替えたときも、次の操作で、停止、早送り、巻き戻しなどができます。

1 再生中に、画面上で右クリック

▼メニューが表示されます。

2 やりたい操作の項目をポイントし、クリック

重要

◎ DVD によっては、この操作方法で正常に切り替えられないものもあります。その場合は、[タイトル] ボタン、または [メニュー] ボタンをクリックして切り替えてください。

ヒント

★ リモコンでも同じ操作が、全画面表示でできます。

参照

リモコンでの操作について→ 5 章の「リモコンを使う」

ヒント

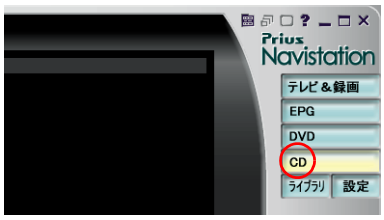
★ ここでは、早送りを例にしています。

CD を聴こう

ここでは、Navistation を使って CD を聴く方法について説明します。

再生から停止、取り出しまで

1 Navistation が立ち上がっている状態で CD を入れ、[CD] ボタンをクリック



▼CD が再生されます。

2 停止するときは、[停止] ボタンをクリック

[停止] ボタン　　[イジェクト] ボタン

3 CD を取り出すときは、[イジェクト] ボタンをクリック

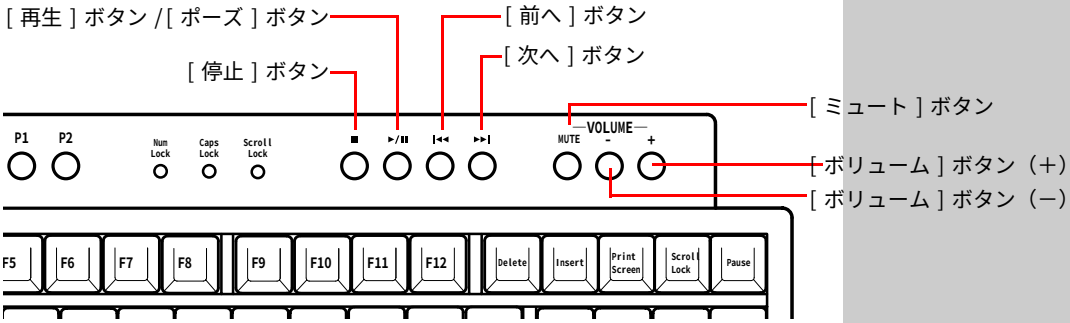
いろいろな操作はこの画面で

操作はこの画面で行います。リモコンやキーボードからも操作できます。

[ポーズ] ボタン	： 一時停止をします。解除するときは、[再生] ボタンをクリックしてください。
[再生] ボタン	： CD を再生します。
[ボリューム] ボタン	： 音量を調整します。
[ミュート] ボタン	： 音を消します。解除するときは、もう一度クリックしてください。
[リピート] ボタン	： CD を繰り返し再生します。 **リピート－なし** ： 最後のトラックの再生が終わると、停止します。 **リピート－曲** ： 1 曲だけ繰り返します。 **リピート－全曲** ： 全曲繰り返します。
[次へ] ボタン	： 次のトラックにジャンプします。
[前へ] ボタン	： 前のトラックにジャンプします。
[早送り] ボタン	： 使用できません。
[巻き戻し] ボタン	： 使用できません。
トラック表示	： 再生中のトラック番号が表示されます。クリックすると、再生したいトラックを直接選ぶことができます。

キーボードで操作する

CD 再生時、キーボードのキーに Navistaion のボタンが、次のように割り当てられます。キーを押すと、対応する Navistation のボタンをクリックしたときと同じ操作ができます。



参照

リモコンでの操作について→ 5 章の「リモコンを使う」

画像データを見る / 音声データを聴く

ここでは、パソコンに収録した画像データを見たり、音声データを聴く方法を説明します。

データを見る / 聴く

1 **Navistation を立ち上げ、[ライブラリ] ボタンをクリック**

▼[ライブラリ] 画面が表示されます。

2 **再生したいデータに合わせて、[動画]、[静止画]、[音声] のいずれかをクリック**

▼データのタイトルが、画面右側に一覧表示されます。

3 **再生したいタイトルのデータをダブルクリック**

▼データが再生されます。

5章

リモコンを使って操作する

パソコンの電源を入れる、アプリケーションを立ち上げる、

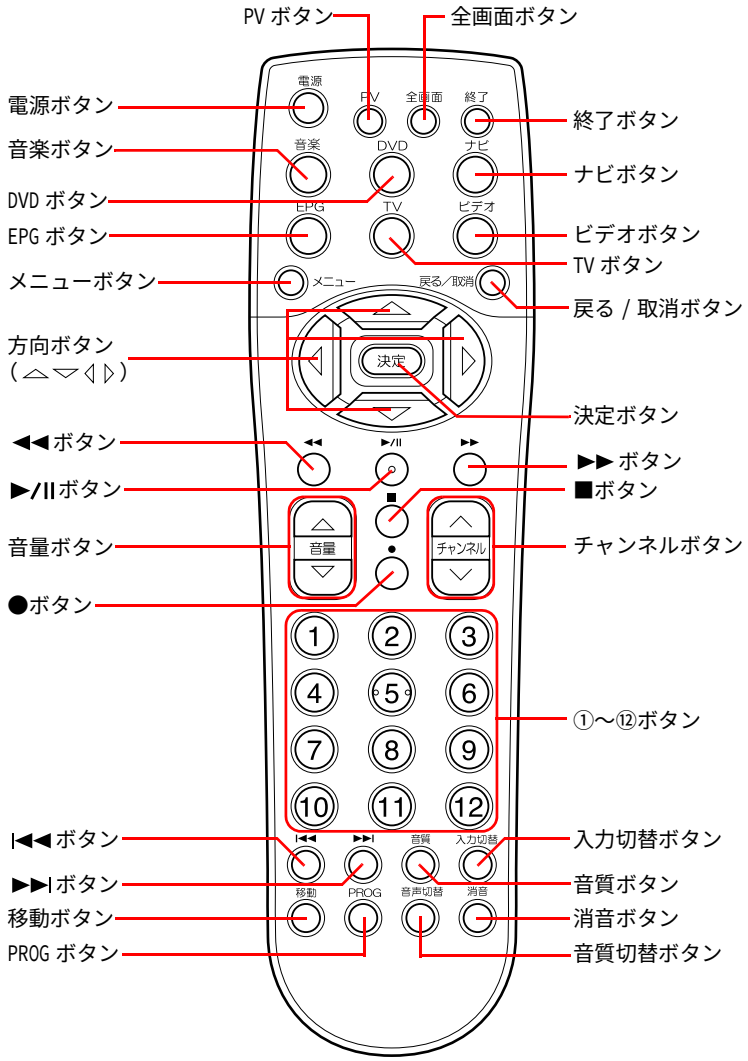
音量を調整する、見たいチャプターに移動する、

聴きたい曲を再生する、見たいチャンネルを映す…。

いろいろなことがリモコンで操作できます。

リモコンを使う

ここでは、リモコンの使い方について説明します。



電源ボタン
電源を切ります。

PV ボタン
緑色ランプが点灯し、PriusView を操作できます。

全画面ボタン
[Navistation] 画面をデスクトップいっぱいに表示します。

終了ボタン
キーボードの [Alt] ＋ [F4] キーを押したときと同じ働きをします。
[Navistation] 画面やウインドウを閉じます。

重要

◎ 一部、Prius では使えないボタンがあります。

ヒント

★ PriusView は、別売の 15 型 TV チューナー内蔵アナログ接続液晶ディスプレイです。

★ パソコンを操作するときは、リモコンの PV ボタンが消灯した状態でご使用ください。

音楽ボタン

Navistation を CD モードで立ち上げます。／ CD モードに切り替えます。

DVD ボタン

Navistation を DVD モードで立ち上げます／ DVD モードに切り替えます。

ナビボタン

わくわくナビを立ち上げます。

EPG ボタン

Navistation を立ち上げ、電子番組ガイド (ADAMS-EPG) を表示します。
Navistation が立ち上がっているときは、EPG モードになります。

TV ボタン

Navistation を、テレビ＆録画モードで立ち上げます／テレビ＆録画モードに切り替えます。

ビデオボタン

Navistation を、ライブラリモードで立ち上げます／ライブラリモードに切り替えます。

メニューボタン

DVD 再生中に、DVD メニューを表示します。

戻る／取消ボタン

キーボードの [Esc] キーを押したときと同じ働きをします。
DVD メニューで前画面に戻るときなどに使います。

方向ボタン △▽◁▷

DVD のメイン・メニュー画面や録画一覧画面で、目的の項目を選択します。

決定ボタン

キーボードの [Enter] キーを押したときと同じ働きをします。
方向ボタンで選んだ項目などを決定します。

◀◀ボタン

テレビモード	： 番組を巻き戻します。
ライブラリモード	： 再生中の映像を巻き戻します。
DVD モード	： 再生中の DVD を巻き戻します。

▶/IIボタン

テレビモード	： 番組を一時停止／解除します。
ライブラリモード	： 再生中の映像を一時停止／解除します。
DVD モード	： 再生中の DVD を一時停止／解除します。
CD モード	： 再生中の CD を一時停止／解除します。

各モードとも、巻き戻し中に押すと、再生を始めます。

▶▶ボタン

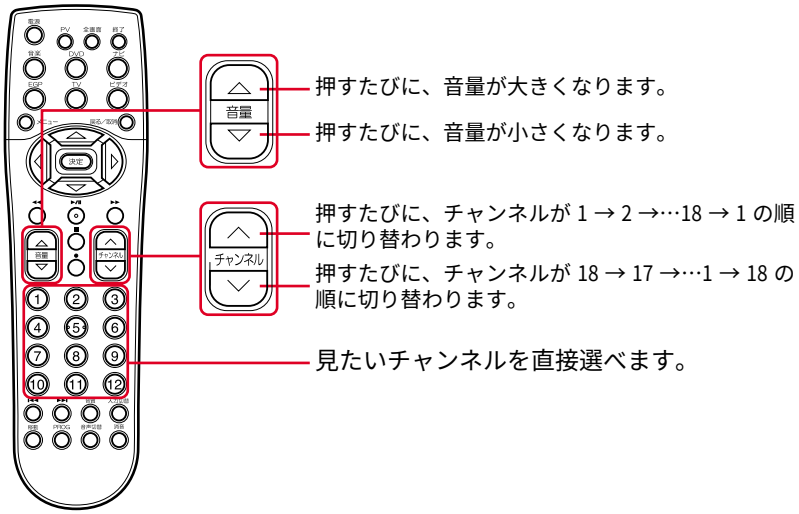
テレビモード	： 一時停止を解除した番組を早送りします。
ライブラリモード	： 再生中の映像を早送りします。
DVD モード	： 再生中の DVD を早送りします。

ヒント

★ **テレビモードは、[テレビ＆録画] および [EPG] のモードをさします。**

音量ボタン

音量を上げます／下げます。音量を調整します。



■ボタン

ライブラリモード	： 再生中の映像を停止します。
DVD モード	： 再生中の DVD を停止します。
CD モード	： 再生中の CD を停止します。

●ボタン

テレビモード	： テレビ番組や外部入力の映像などを録画します。

チャンネルボタン

テレビモード	： チャンネルを切り替えます。

①～⑫ボタン

テレビモード	： チャンネルを指定します。
DVD モード	： チャプターを指定します。
CD モード	： トラックを指定します。

|◀◀ボタン

テレビモード	： 前のブックマークに戻ります。
DVD モード	： 前のチャプターに戻ります。
CD モード	： 前のトラックに戻ります。CD再生中は、曲の先頭に戻ります。

▶▶|ボタン

テレビモード	： 次のブックマークに進みます。
DVD モード	： 次のチャプターに進みます。
CD モード	： 次のトラックに進みます。

移動ボタン

キーボードの［Tab］キーを押したときと同じ働きをします。選択枠を移動させます。

PROG ボタン

キーボードの［⊞］キーを押したときと同じ働きをします。

音質ボタン

DVD モード	： ドルビーヘッドホンのモードを変更します。

入力切替ボタン
外部入力に切り替えます。

音声切替ボタン
音声を切り替えます。主音声→副音声→主音声＋副音声の順に切り替わります。

消音ボタン
スピーカーの音を消します／元に戻します。

ヒント

★ 消音ボタンが有効になっていると、Windows を立ち上げたときも音は鳴らなくなります。

6章

設定を変えて、もっと使いやすく

あなたのお好みに合わせて、

いろいろな設定を変えてみましょう。

ほとんどの変更が同じ画面でできますので、

変更用画面の表示方法を覚えておくと便利です。

設定を変えるには

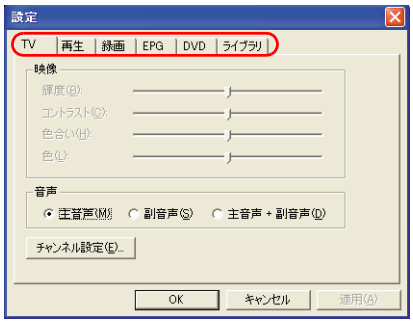
ここでは、設定を変えるための画面を表示させる方法について説明します。

1 [Navistation] 画面の [設定] ボタンをクリック

▼[設定] 画面が表示されます。

2 変更したい内容に合わせて、各タブをクリック

変更できる内容については、次の「変えたいこと一覧」をご参照ください。



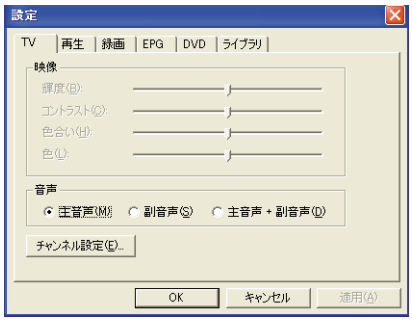
3 設定の変更が終わったら、[OK] ボタンをクリック

▼設定内容が保存され、[設定] 画面が閉じます。

変えたいこと一覧

ここでは、Navistation の [設定] 画面で変更できる内容を説明します。

■[TV] タブ画面



映像

変更できません。

音声

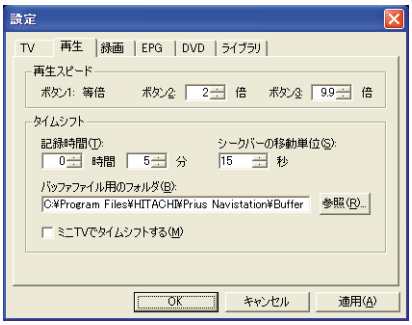
2 カ国語放送のテレビ番組を受信しているときの音声モードを切り替えます。

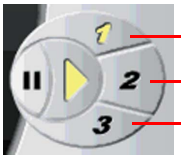
主音声	： 主音声を聴くときに選びます。
副音声	： 副音声を聴くときに選びます。
主音声＋副音声	： 主音声と副音声の両方を聴くときに選びます。

[チャンネル設定] ボタン

受信するチャンネルを追加したり、不要なチャンネルを削除します。引っ越しをしてお住まいの地域が変わったときは、ここでチャンネル設定をし直してください。

■[再生] タブ画面





ボタン 1

ボタン 2

ボタン 3

再生スピード

[ボタン 1]、[ボタン 2]、[ボタン 3] をクリックしたときの再生スピードを変更できます。数値を上げるほど、再生スピードが速くなります。

重要

◎ 番組の録画は、ここで設定した音声モードで行われます。録画した番組を再生中に設定を変更しても、音声モードは変わりません。

参照

受信するチャンネルの変更方法について→付録「引っ越したときは」

重要

◎ 再生スピードを1.0倍から2.0倍に設定した場合は音声付き再生ができます。それ以外に設定した場合は無音でのスキップ再生、スロー再生となります。

タイムシフト

記録時間

巻き戻し、一時停止できる時間を変更します。数値を上げるほど、長い時間巻き戻しや一時停止することができます。

一時停止できる時間とハードディスク使用容量について

一時停止できる時間	ハードディスク使用容量
5 分	約 300MB
10 分	約 600MB
30 分	約 1800MB

シークバーの移動単位

「≪」「≫」をクリックしたときの移動量を秒単位で設定できます。

バッファーファイル用のフォルダー

一時停止している間の映像を保存しておくフォルダーを指定します。

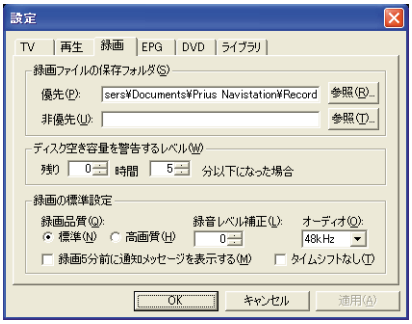
ミニ TV でタイムシフトする

ミニ TV で「一時停止」などを行う場合、チェックマークを入れます。チェックマークを入れないと、ミニ TV 使用時は、ディスクアクセスを行わないため、負荷を低減できます。

ヒント

★ 最大 2 時間まで一時停止する時間を設定できます。

■[録画] タブ画面



録画ファイルの保存フォルダ

録画中の映像を保存しておくフォルダーを指定します。通常、[優先] にのみフォルダーを指定します。

[非優先] は、ハードディスクドライブ（以下 HDD）の増設やパーティション変更などで 2 つ以上 HDD がある場合に指定します。[優先] の HDD とは別の HDD のフォルダーを指定すると、予約録画したとき 1 つ目の HDD が容量不足になっても、２つ目の HDD に録画できます。ただし、手動で録画する場合は、[非優先] の HDD に録画できません。

ディスク空き容量を警告するレベル

録画中にハードディスクの容量が足りなくなったときに、警告メッセージを表示する時間を指定します。

録画予約の標準設定

録画品質

録画するときの品質モードを切り替えます。

標準	： 標準的な画質で録画するときに選びます。
高画質	： 高品質な画質で録画するときに選びます。録画に必要なハードディスクの容量は [標準] より多くなります。

録音レベル補正

数値を大きくすると、録音時の音量が大きくなります。標準値は「0」です。

重 要

◎ [録画] ボタンを押して、番組を録画するときは、常に [優先] で指定されているフォルダーに録画されます。

◎ CD-R/RW ドライブや DVD-ROM ドライブなど、内蔵 HDD 以外のドライブを指定しないでください。正常に録画できません。

◎ ２つのドライブをまたいで連続録画はできません。

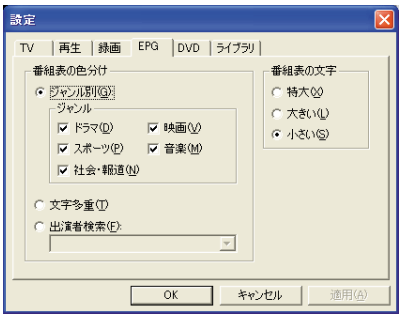
◎ 録音レベル補正の数値を大きくしすぎると、音割れの原因になります。入力される音量に応じた数値に調整してください。

オーディオ
オーディオのサンプリングレートを指定します。

録画 5 分前に通知メッセージを表示する
チェックマークを入れておくと、録画が始まる 5 分前に録画の開始を知らせるメッセージを表示します。

タイムシフトなし
録画中にタイムシフト機能を使用しないときは、チェックマークを入れてください。ディスクアクセスによる負荷を低減できます。

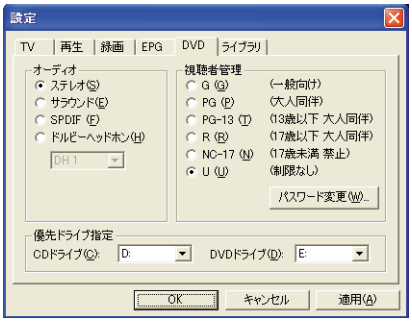
■[EPG] タブ画面



番組表の色分け
[ジャンル][文字多重][出演者検索] のいずれかで、電子番組ガイドの各番組を色分けすることができます。たとえば、電子番組ガイドの中の「音楽番組」に色をつけるには、[ジャンル] の [音楽] にチェックマークを入れます。

番組表の文字
電子番組ガイドの文字の大きさを指定します。

■[DVD] タブ画面



オーディオ
音声の状態を切り替えます。[ドルビーヘッドホン◆] を選択した場合は、さらに次の指定をします。

DH1 ： 小さな部屋 (家庭のリビングルームなど) で聴いている状態に近づけたいときに選びます。

DH2 ： ライブハウスなどの、やや残響感のある部屋で聴いている状態に近づけたいときに選びます。

DH3 ： コンサートホールや映画館などの、広い空間で聴いている状態に近づけたいときに選びます。

ヒント

★ DVD-Video の素材として録画する場合は、48 kHz に設定してください。

重 要

◎ 「コンピューターの管理者」でないユーザーでは、オーディオ以外の項目、（視聴者管理、パスワード変更、優先ドライブ指定）などは設定できません。

視聴者管理

DVD の視聴制限レベルを変更します。[パスワードの変更] 画面が表示されたら、各欄を入力して、[OK] ボタンをクリックしてください。
パスワードを設定したあとで視聴制限レベルを変更すると、[視聴制限パスワード] 画面が表示されます。パスワードを入力して、[OK] ボタンをクリックしてください。

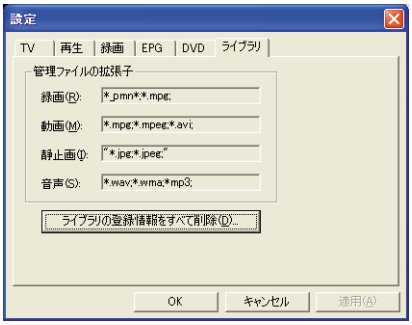
[パスワード変更] ボタン
すでに設定してあるパスワードを変更します。

優先ドライブ指定

CD ドライブ
Navistation の [イジェクト] ボタンを押して、CD-ROM を取り出すときにどのドライブから優先に取り出すか設定します。

DVD ドライブ
Navistation の [イジェクト] ボタンを押して、DVD-ROM を取り出すときにどのドライブから優先に取り出すか設定します。

■[ライブラリ] タブ画面



管理ファイルの拡張子

管理するファイルの拡張子を表示します。

[ライブラリの登録情報をすべて削除] ボタン
ライブラリに登録されているインデックス情報をすべて削除します。
録画したデータは削除されません。

重要

◎ 制限情報を含んでいない DVD を視聴するときには、この機能は使用できません。

参照

録画したデータの削除のしかた
→ 7 章の「映像データを削除する」

7章

映像データを管理、編集しよう

録画した映像を、パソコンとビデオテープ間でやりとりしたり、

ほかのディスクにコピーしてみましょう。

さらに、収録した映像や画像、音声などのデータファイルを編集してみましょう。

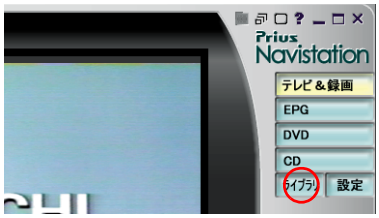
3 映像データファイルを管理する

ここでは、パソコンに録画した映像を CD-R/RW、DVD-RAM/R や、ほかのハードディスクにコピーする方法を説明します。

ディスクにコピーする

1 CD-R◆や CD-RW◆、DVD-RAM にコピーする場合はフォーマットする
ハードディスクにコピーする場合はコピー先のフォルダーを作成する

2 Navistation を立ち上げ、[ライブラリ] ボタンをクリック



▼[ライブラリ] 画面が表示されます。

3 [ライブラリ] をダブルクリックし、[ローカルディスク] をダブルクリックし、「Record」という名前のフォルダーをクリック

▼録画した映像のタイトルが、画面右側に一覧表示されます。

4 コピーしたい映像のタイトルを右クリックし、[コピー] をクリック

参照

CD-R、CD-RW のフォーマット方法について→「Drag'n Drop CD/DVD」ヘルプ

DVD-RAM のフォーマット方法について→「映像データを収録、編集、保存しよう」「映像データをディスクやデジタル機器に出力する」

ハードディスクのフォルダー作成について→『パソコン入門』の「3. ファイルを使おう」「ファイルを整理するフォルダーを作る」

ヒント

★ CD-R や CD-RW にコピーできるのは、録画品質 [標準] の場合に映像時間約 20 分、[高画質] の場合に約 10 分までのデータです。

5 **[ローカルディスク] を右クリックし、[フォルダ追加] をクリック**

▼[フォルダの参照] 画面が表示されます。

6 **コピー先のドライブやフォルダーをクリックし、[OK] ボタンをクリック**

▼[ライブラリ] 画面に戻ります。

7 **コピーする場合は、[ライブラリ] − [ローカルディスク] などの順にダブルクリックし、コピー先のフォルダーをクリック**

8 **画面右側の空白欄で右クリックし、[貼り付け] をクリック**

▼コピーを確認する画面が表示されます。

9 **[OK] ボタンをクリック**

▼映像がコピーされます。

映像データを削除する

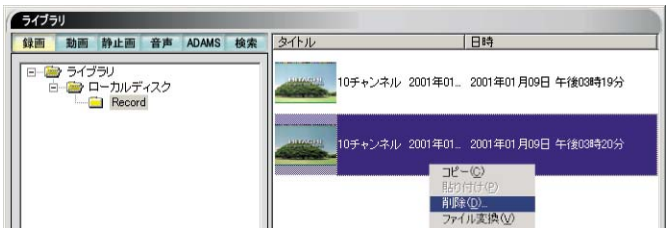
1 **Navistation を立ち上げ、[ライブラリ] ボタンをクリック**

▼[ライブラリ] 画面が表示されます。

2 **削除したい映像データをクリック**

▼映像データが反転表示されます。

3 **右クリックし、[削除] をクリック**



▼削除を確認する画面が表示されます。

4 **[OK] ボタンをクリック**

▼映像データが削除されます。

ヒント

★ コピー先にドライブ C（ローカルディスク）のドライブを指定すると「ディスク _*****_*****」とフォルダーが作成され、その下に指定したフォルダー名が追加されます。

ヒント

★ ここでは、例として [data] フォルダーをコピー先にします。

映像データを収録、編集、保存しよう

テレビ番組の映像や、ビデオカメラで撮った映像などをパソコンに取り込んで編集し、DVD-RAM などに保存することができます。

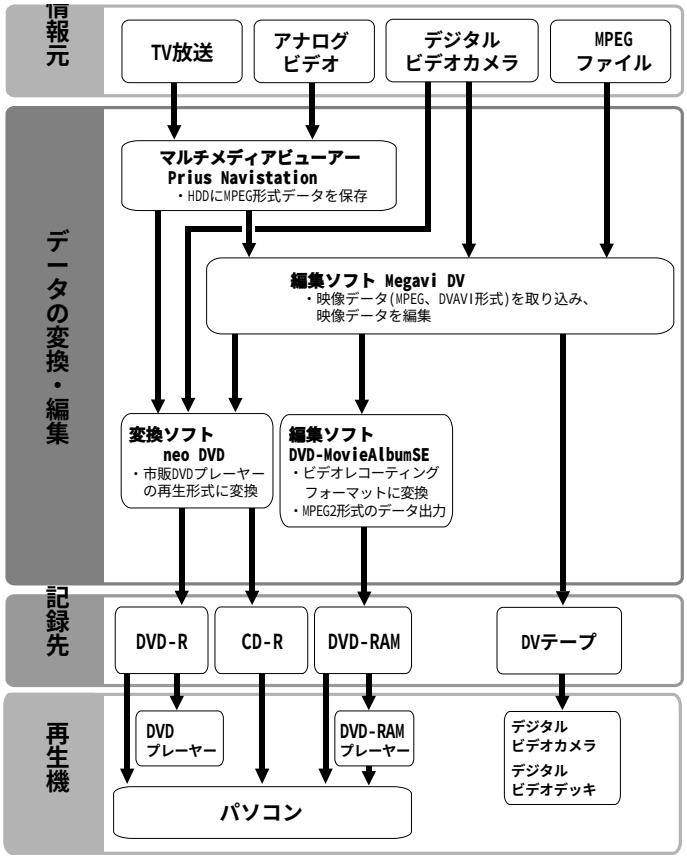
ここでは、映像データ（MPEG 形式）の取り込み、映像データの編集、映像データの保存などを説明します。

必要なマニュアル

編集の操作には、次のマニュアルを使います。あらかじめご用意ください。
・『DVD-MovieAlbum 取扱説明書』

映像データを収録、編集、保存する流れ

次の流れで、映像データの収録、編集、保存を行います。



映像データをパソコンに取り込む

テレビの映像やアナログビデオテープの映像、デジタルビデオテープの映像、MPEG 形式のデータをパソコンに取り込みます。

TV の映像を録画する

テレビ番組を録画するには、「Prius Navistation（以下、Navistation）」を使います。

■テレビ番組を録画する

1 ［わくわくナビ］画面で、［アプリケーション］を選択し、［テレビ・録画］、［Prius Navistation］アイテムをクリック

▼［Navistation］画面が表示されます。

2 ［テレビ＆録画］ボタンをクリック

▼テレビの映像が表示されます。

3 ［前へ］ボタン、［次へ］ボタンをクリックし、録画したい番組を表示

4 録画したい番組が映っている状態で、［録画］ボタンをクリック

▼録画が始まります。

5 録画を停止するときは、［停止］ボタンをクリック

▼録画が終了します。

ヒント

★ パソコンでテレビを見るには、Navistation に受信するチャンネルを設定しておきます。

参照

チャンネルを設定について→1章の「準備する」

ヒント

★ 電子番組ガイドを使って予約したり、時間を指定して予約することもできます。

参照

電子番組ガイドを使った予約について→ 3 章の「電子番組ガイドを使って予約録画する」

ヒント

★ 録画した番組は、ハードディスクに保存されます。1時間録画すると、録画品質［標準］の場合に約 1.8GB、［高画質］の場合に約 3.6GB のハードディスクを使用します

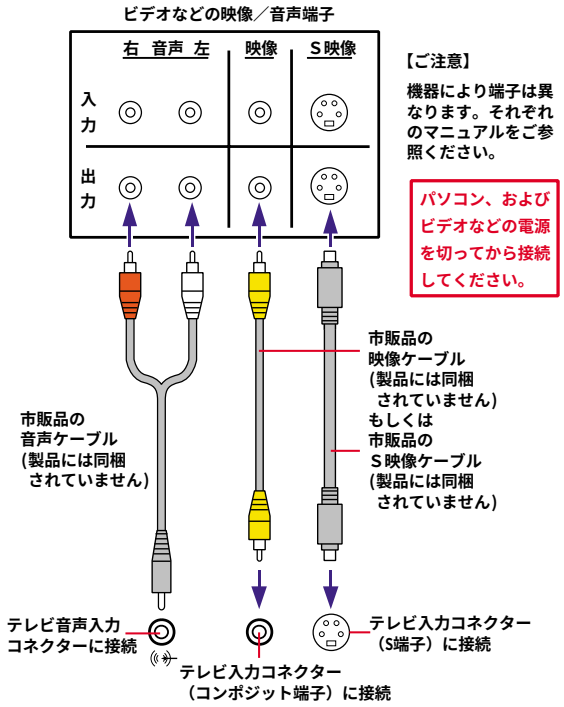
アナログビデオテープの映像を取り込む

アナログビデオカメラやビデオデッキ（以下、外部機器）のアナログビデオテープに入っている映像をパソコンに取り込むには、Navistation を使います。

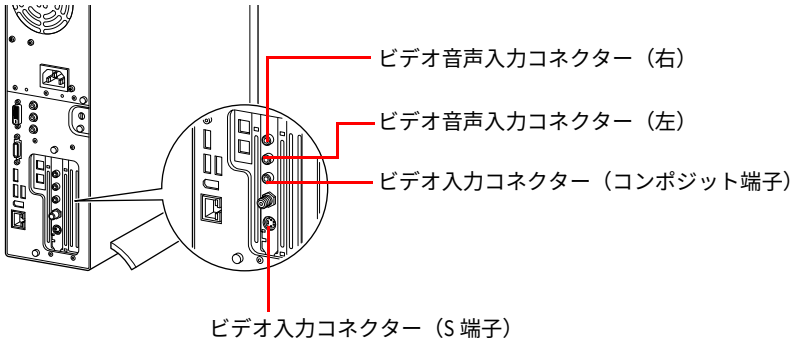
■接続する

1 パソコンとビデオなどの外部機器の電源を切る

2 パソコンとビデオなどの外部機器を接続する



●背面コネクターの一例



3 外部機器、パソコンの順に電源を入れる

重要

◎ この方法で、デジタルビデオカメラの映像を取り込むことはできません。

重要

◎ 機器により端子は異なります。それぞれのマニュアルをご参照ください。

参照

コネクターの位置について→『接続と準備』の「5. いろいろな使い方をするために」「各部の名前とはたらきを知っておこう」

■Navistation の設定をする

1 Navistation を立ち上げる

2 赤丸部分をクリック

▼チャンネル一覧が表示されます。

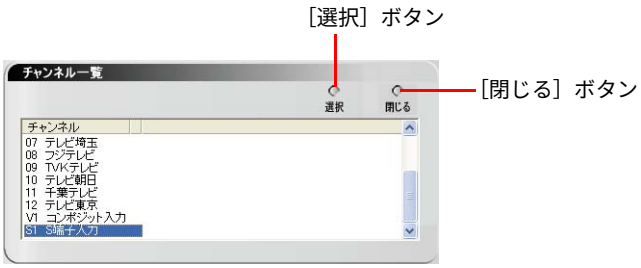
3 接続するコネクターに合わせたチャンネルをクリック

ここでは、背面のビデオ入力コネクター（S 端子）に S 映像ケーブルを接続する場合を例にします。

接続するパソコンのコネクター	選択するチャンネル
背面のビデオ入力コネクター（S 端子）	S 端子入力 1
背面のビデオ入力コネクター（コンポジット端子）	コンポジット入力 1

4 ［選択］ボタンをクリック

5 ［閉じる］ボタンをクリック



■映像の取り込みを開始する

1 外部機器側の再生ボタンを押す

2 次の点を確認する

・［Navistation］画面に映像が表示されている
・スピーカーから音声が聞こえている

参照

Navistation の立ち上げについて→「TV の映像を録画する」

ヒント

★ 音量の調整は、Windows で行います。

参照

設定の詳細について→電子マニュアル『パソコン応用』1 章の「Windows の音量を調整する」

参照

設定方式の詳細について→「設定を変えて、もっと使いやすく」

3 **取り込みたい映像が表示されたら、[Navistation] 画面の [録画] ボタンをクリック**

▼取り込みが始まります。

4 **取り込みを停止するときは、[停止] ボタンをクリック**

テレビの映像を使ってDVDを作成する

DVD-R 書き込み機能のある機種では、DVD-Video を作成できます。作成には、下記ソフトを使用します。

(1)MegaVi DV(映像の編集を行うソフト)
(2)neoDVD(DVD ー Video を作成するソフト)

■MegaVi DV を立ち上げる

MegaVi DV を立ち上げましょう。

1 **[スタート] ボタンー [すべてのプログラム] ー [JUSTSYSTEM アプリケーション] ー [MegaVi DV2] をクリック**

■映像ファイルを読み込む

1 **[メニュー] ー [新規プロジェクト] をクリック**

▼[新規プロジェクト] 画面が表示されます。

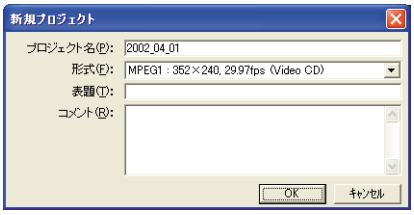
ヒント

★ 映像の編集を行わず、そのまま DVD を作成する場合は、MegaVi DV を使う必要はありません。

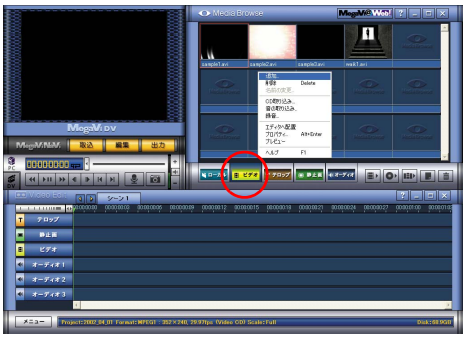
参照

詳細→ DVD を作成する

2 [プロジェクト名] 欄にプロジェクト名を入力し、[形式] 欄で「MPEG2 720 × 480 29.97fps(DVD Video)」を選択して、[OK] ボタンをクリック



3 [ビデオ] ボタンをクリックし、Media Browse で右クリックして、[追加] をクリック

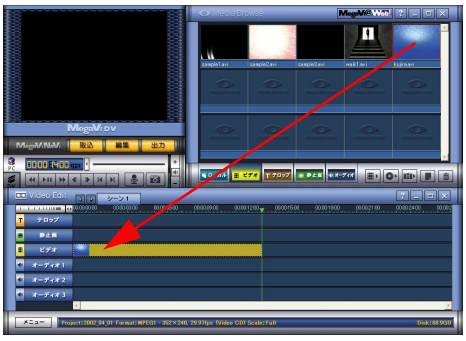


▼[ファイルを開く] 画面が表示されます。

4 録画ファイルを選択し、[開く] ボタンをクリック

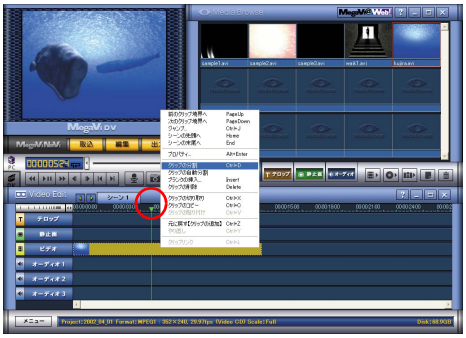
▼Media Browse に映像ファイルが追加されます。

5 映像ファイルをビデオトラックにドラッグアンドドロップ

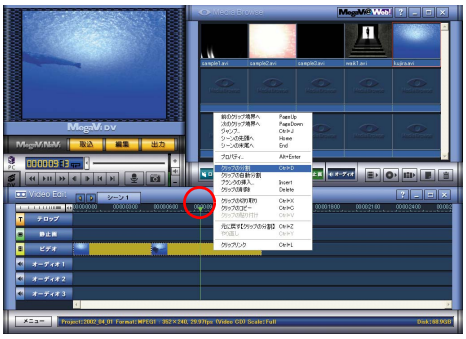


■不要なシーンを削除する

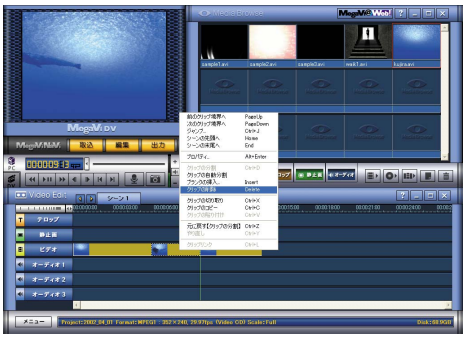
1 削除したいシーンの最初の部分に▼をドラッグアンドドロップし、ビデオトラックの帯上で右クリックして、[クリップの分割] をクリック



2 削除したいシーンの最後の部分に▼をドラッグアンドドロップし、ビデオトラックの帯上で右クリックして、[クリップの分割] をクリック

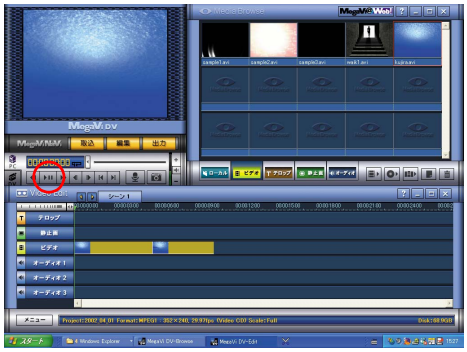


3 削除したいトラックの帯上で右クリックし、[クリップの削除] をクリック



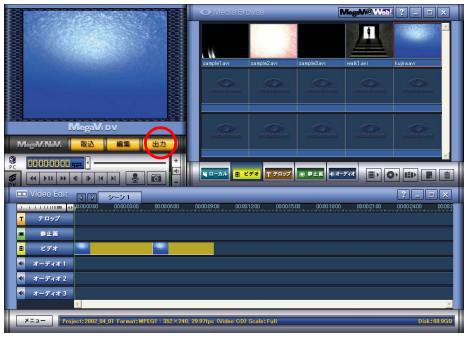
■編集した映像データを再生する

1 [▶II] ボタンをクリック

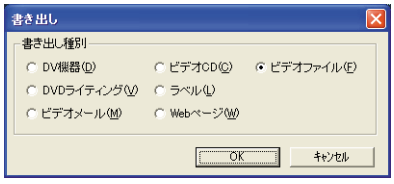


■MPEG2 ファイルを出力する

1 [出力] ボタンをクリック



2 「ビデオファイル」を選択し、[OK] をクリック



3 [形式] 欄で「MPEG2:720 × 480 29.97fps(DVD Video)」を選択し、ファイルの保存場所とファイル名を指定して [OK] ボタンをクリック

■DVD を作成する

1 [スタート] ボタン－ [すべてのプログラム] － [MedioStream] － [neoDVD standard] － [neoDVD standard] をクリック

2 未使用の DVD-R メディアを DVD-R 書き込み可能ドライブに入れる

3 上から2番目のボタン([ビデオファイルモード] ボタン)をクリック

4 MPEG2 ファイルをビデオリストにドラッグアンドドロップ

5 次の点を確認する

- [出力] 欄に「DVD-Video」と表示されている
- [書き込み先] 欄に「MATSHITA DVD-RAM」と表示されている
- [表示フォーマット] 欄に「NTSC」と表示されている

6 [ディスクの作成] ボタンをクリック

▼[選択してください] 画面が表示されます。

ヒント

★ [+] ボタンでも、映像ファイルを追加できます。

7 [OK] ボタンをクリック

デジタルビデオテープの映像から DVD を作成する

デジタルビデオカメラで撮影した映像から DVD を作成します。

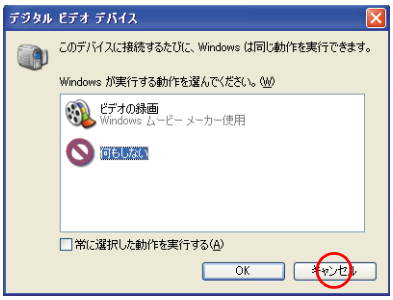
■デジタルビデオカメラを接続する

パソコンを立ち上げたあと、デジタルビデオカメラをパソコンに接続します。

1 **デジタルビデオカメラの電源を入れ、動作モードを再生モードに設定してから、i.LINK ケーブル（別売り）をデジタルビデオカメラの i.LINK コネクタに接続する**

2 **i.LINK ケーブルのもう一方を、パソコンの i.LINK コネクターに接続する**

3 **[デジタルビデオデバイス] 画面が表示されたら、[キャンセル] ボタンをクリック**



■neoDVD を立ち上げる

neoDVD を立ち上げましょう。

1 **[スタート] ボタン－ [すべてのプログラム] － [MedioStream] － [neoDVDstandard] － [neoDVDstandard] をクリック**

▼[neoDVD ソースの選択] 画面が表示されます。

2 **一番上のボタン（[カムコーダーモード] ボタン）をクリック**

▼[neoDVD] 画面が表示されます。

重要

◎ i.LINK ケーブルは、必ずパソコンとデジタルビデオカメラの電源を入れてから接続してください。

ヒント

★ i.LINK ケーブルの接続はデジタルビデオカメラによって異なります。ケーブルの接続は、デジタルビデオカメラに付属のマニュアルをご参照ください。

参照

パソコンへの i.LINK ケーブルの接続について→電子マニュアル『パソコン応用』3 章の「i.LINK 機器を接続する」

■DVD を作成する

映像を見ながら、好きなシーンを DVD に取り込みましょう。

1 未使用の DVD-R メディアを DVD-R 書き込み可能ドライブに入れる

2 次の点を確認する

・[キャプチャーデバイス] 欄にデジタルビデオカメラの名称が表示されている
・[出力] 欄に「DVD-Video」と表示されている
・[書き込み先] 欄に「MATSHITA　DVD-RAM」と表示されている
・[表示フォーマット] 欄に「NTSC」と表示されている

3 [ビデオ] タブ画面の [▶] ボタンをクリック

▼プレビュー画面に映像が映ります。

4 取り込みたいところで [開始] ボタンをクリック

▼取り込みが始まります。

5 取り込みを終了したいところで [終了] ボタンをクリック

▼引き続き、DVD-R のライティングが始まります。

ヒント

★ デジタルビデオカメラを認識するのに時間がかかる場合があります。

重要

◎ うまく接続できないときは、次のことをご確認ください。
・デジタルビデオカメラの動作モードが再生側になっているか。
・デジタルビデオカメラにテープはきちんと入っているか。
・i.LINK ケーブルはしっかり差し込まれているか。
それでも認識されないときは、パソコンとデジタルビデオカメラの電源を切り、最初からやり直してください。

6 この画面が表示されたら、[OK] ボタンをクリックして DVD を取り出す

映像データをディスクやデジタル機器に出力する

MegaVi DV で編集したデータや MPEG 形式に変換した映像データを DVD-RAM ディスクや、デジタル機器に保存します。

映像を DVD-RAM に保存する

DVD-RAM をご購入後、はじめて使用するときは、フォーマットする必要があります。DVD-RAM をフォーマットするには、「DVDForm」を使います。
フォーマットすると、ハードディスクと同じように操作できます。

■DVD-RAM をフォーマットする

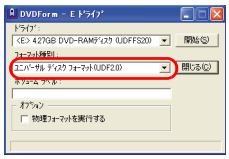
DVDForm を使って DVD-RAM をフォーマットするときは、次のようにします。

1 [わくわくナビ] 画面で、[アプリケーション] を選択し、[DVD 作成] メニュー、[DVDForm] アイテムをクリック

▼フォーマット画面が表示されます。

2 DVD-RAM/R ドライブを選択

3 フォーマットの種類を選択



ヒント

★ DVDForm を使うには、DVD-RAM/R ドライブが必要です。

★ 詳しい使い方は、ヘルプをご参照ください。

重要

◎ フォーマット種別で UDF 形式◆を選択した場合、ボリュームラベルを入力してください。入力しないと "PANA-UDF" が自動的に設定されます。

◎ DVD-RAM ドライブに未フォーマットの DVD-RAM を入れ、マイコンピュータの DVD-RAM ドライブアイコンをダブルクリックすると、FAT32 形式でフォーマットできます。
UDF 形式でフォーマットする場合は、「DVDForm」をお使いください。

ヒント

★ フォーマットにかかる時間は、ディスクの種類によって異なります。

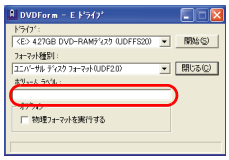
ヒント

★ DVD-MovieAlbumSE で使用する DVD-RAM をフォーマットするときは、「UDF 2.0 形式」にしてください。

重要

◎ DVD-RAM をフォーマットするときは、節電機能を設定しないでください。フォーマット中に節電状態になるとフォーマットが失敗します。
失敗したときは、節電機能を「なし」に設定し、再度フォーマットを行ってください。

4 ボリュームラベルを入力



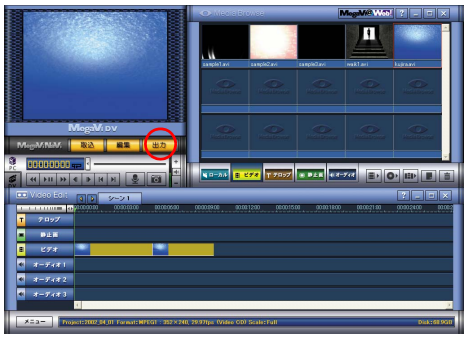
5 [開始] ボタンをクリック

▼フォーマットが始まります。

■DVD-RAM に映像を保存する（ビデオレコーディングフォーマット形式）

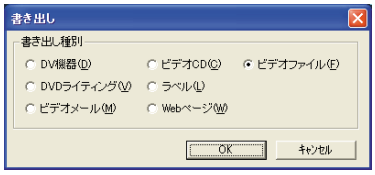
DVD-RAM に映像を保存するには、まず DVAVI(DV コーデックの AVI) 形式のファイルを準備する必要があります。
MegaVi DV で映像を編集後、以下の操作を行ってください。

1 「出力」をクリック



▼[書き出し] 画面が表示されます。

2 「ビデオファイル」を選択し、[OK] をクリック



3 形式欄で「AVI: 720 × 480, 29.97fps DV コーデック (48k) 」または「AVI: 720 × 480, 29.97fps DV コーデック (32k) 」を選択し、ファイルの保存場所とファイル名を指定して [OK] ボタンをクリック

4 [わくわくナビ] 画面で、[アプリケーション] を選択し、[DVD 作成] メニュー、[DVD-MovieAlbumSE] アイテムをクリック

▼DVD-MovieAlbum SE が立ち上がります。

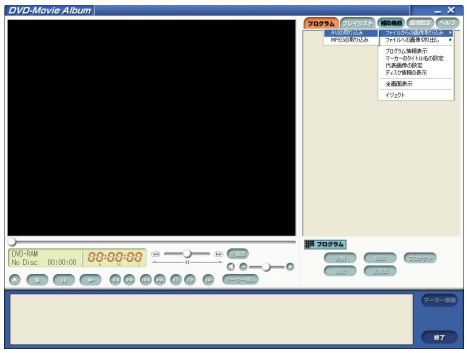
ヒント

★ DVD-MovieAlbumSE の詳しい使い方は、ヘルプをご参照ください。

★ DVD-MovieAlbumSE を使って映像を見たり、編集するには、DVD-RAM/R ドライブが必要です。映像を見るだけのときは、DVD-RAM 読み込み対応の DVD-ROM & CD-R/RW マルチドライブや DVD-ROM ドライブが必要です。

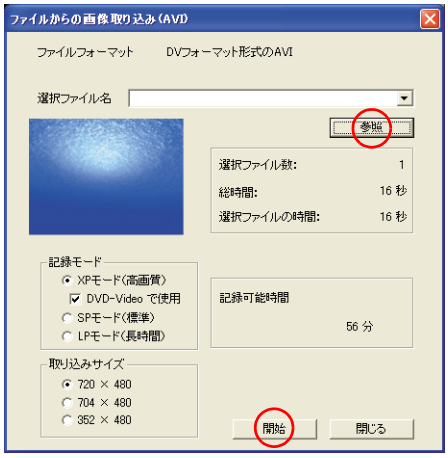
5 UDF2.0 形式でフォーマットされた DVD-RAM を、DVD-RAM 書き込み可能ドライブに入れる

6 [補助機能] − [ファイルからの画像取り込み] − [AVI の取り込み] をクリック



▼[ファイルからの画像取り込み (AVI)] 画面が表示されます。

7 [参照] ボタンをクリックして保存した DVAVI ファイルを選択し、[開始] ボタンをクリック



▼編集したビデオクリップが DVAVI 形式の映像として DVD-RAM に書き込まれます。

●書き込み時間（目安）

記録モードと取り込みサイズの設定によって、次のように書き込み時間（目安）が変わります。

取り込みサイズ / 記録モード	720 × 480	704 × 480	352 × 480
XP モード（高画質）	2 分 14 秒	1 分 40 秒	1 分 01 秒
SP モード（標準）	2 分 02 秒	1 分 30 秒	54 秒
LP モード（長時間）	-	-	52 秒

取り込み元ファイル：1 分の DVAVI ファイル
CPU：Pentium 4 1.7GHz の場合

ヒント

★ DVD-MovieAlbumSE を立ち上げたとき、「ドライブ E: は、他のアプリケーションで使用中です。」と表示される場合があります。このときは、ドライブ E の中を表示しているウィンドウやドライブ E を使用しているアプリケーションをすべて終了し、[再試行] ボタンをクリックしてください。

重要

◎ DVD-MovieAlbumSE 以外で書き込んだデータは動作しません。

◎ ビデオ映像を記録したディスクをファイナライズしないでください。ファイナライズすると、映像が使えなかったり、DVD-RAM ビデオレコーダーで読み込もうとしても、「フォーマットされていない」と判断されることがあります。

◎ 映像を記録・編集したものは個人またはご家族でお楽しみください。これ以外は著作権上、著作者に無断で使用できません。

ヒント

★ DVD-MovieAlbumSE を使用中に、DVD-RAM ディスクを取り出すときは、アプリケーションの [取り出し] アイコンをクリックします。

重要

◎ DVAVI ファイルの取り込み時、低ビットレート（LP モード）、高解像度設定の組み合わせでは、取り込めないことがあります。このときは、ビットレートを上げるか、取り込みサイズ（解像度）を低くしてください。

◎ 取り込める MPEG2 ファイルは、DVD-MovieAlbumSE で切り出したもののみです。

DVD-RAM のデータをコピーする

DVD-RAM/R ドライブ内蔵のパソコンの場合、ビデオフォーマットに変換した映像データをハードディスクにコピーして保存するときは、「DVD-MovieAlbum コピーツール」を使います。
さらに、このコピーツールで保存した映像データを別の DVD-RAM に保存することもできます。

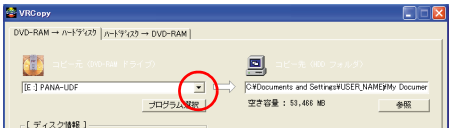
■DVD-RAM のデータをハードディスクにコピーする

1 **［わくわくナビ］画面で、［アプリケーション］を選択し、［DVD 作成］メニュー、［DVD-MovieAlbum コピーツール］アイテムをクリック**

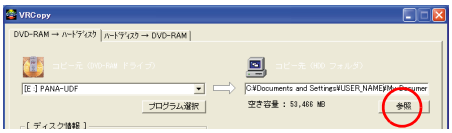
▼メッセージが表示されます。

2 **［OK］ボタンをクリック**

3 **［▼］ボタンをクリックし、DVD-RAM ドライブをクリック**



4 **［参照］ボタンをクリックし、コピー先のフォルダーを選択し、［OK］ボタンをクリック**



5 **［開始］ボタンをクリック**

ヒント

★ コピーツールは、ビデオレコーディングされた DVD-RAM のデータをコピーするものです。ビデオレコーディングされたデータ以外のデータはコピーできません。

ヒント

★ ［ハードディスク→ DVD-RAM］タブをクリックすると、左記の手順と同様にしてハードディスクのデータを DVD-RAM にコピーできます。

★ コピー元の参照フォルダーには保存時に作成された「DVD_RTAV」を選択してください。
ただし、ハードディスクから DVD-RAM にコピーできるデータはこのコピーツールで保存したデータだけです。

8章

テレビ Q&A

操作中にわからないことがあったら、ここをお読みください。

Q

テレビを全画面で表示したい。

A

[Navistation] 画面右上の ▢ をクリックしてください。元に戻すには、[Esc] キーを押します。リモコンの［全画面］ボタンでも同じ操作ができます。

Q

画面の解像度や画面の色を変えたところ、Navistation が立ち上がらなくなった。

A

画面解像度 800 × 600 ピクセルまたは 1024 × 768 ピクセルで、画面の色を中（16 ビット）以上に設定してください。

Q

[Navistation] 画面のテレビ映像が、実際の放送とずれている。

A

Navistation は、ハードディスクに一度記録したものを再生します。そのため、実際の放送にくらべ約 3 秒の遅れがあります。

Q

コマ落ちやブロックノイズが多発する。

A

次の項目をご確認ください。

■ほかのアプリケーションを立ち上げていないか。

Navistation はテレビ映像をソフトウェアで再生しています。タイムシフト視聴を実現するために、録画していない状態でも常にバッファーへの記録を行います。録画・再生はデータ量が大きいためハードディスクへの書き込み・読み出しを繰り返します。このためプロセッサーに負荷となる操作や、ディスクアクセスが発生する操作をすると、Navistation の動作が乱れ、コマ落ちが発生してしまいます。
Navistation を使用中は、ほかのアプリケーションを立ち上げないでください。

■画面の色を変えてみる。

[画面のプロパティ]-［設定］で画面の色を [中（16 ビット）] に変更すると、改善されることがあります。

参照

変更方法について→電子マニュアル『パソコン応用』1 章の「ディスプレイを調整する」

Q

見ているシーンから録画されない。

A

タイムシフト視聴中に録画ボタンを押すと、タイムシフトで見ている場面ではなく、リアルタイムの場面から録画されます。

Q

再生・録画処理が停止する。

A

- TV 視聴中の場合には、ユーザー切り替えを行ったときにタイムシフト再生が停止します。このとき、タイムシフト再生用のデータは無くなります。元のユーザーに戻った時、新たにタイムシフト再生が始まります。
- DVD　視聴中の場合は、ユーザー切り替えを行ったときに再生が停止します。元のユーザーに戻っても自動で DVD は再生されません。再生ボタンを押して DVD の再生を行ってください。このとき DVD は最初から再生されます。
- 録画中の場合は、ユーザー切り替えときに録画が停止します。元のユーザーに戻っても録画は継続されません。

Q

タイムシフト再生されない。

A

タイムシフトバッファーは、設定した時間 (分) だけの容量を持ちますが、起動直後はバッファーの中にデータが無くタイムシフト再生できません。また、視聴中にチャンネルを変えた場合にもバッファー内にはチャンネル変更する前のデータが記録されているのみであり、変更後のチャンネルのタイムシフトデータは存在しません。

Q

一時停止をかけていたのに再生されている。

A

タイムシフトバッファーに設定した時間 (分) を超えての一時停止はできません。バッファー時間を 5 分に設定した場合、一時停止の操作によりリアルタイムからのずれが 5 分以上になると 5 分遅れた場所から自動的に再生が始まります。長時間一時停止する場合は、バッファーを多めに確保してください。

Q

テレビモードで音が出ない。

A

[サウンドとオーディオデバイスのプロパティ]-[音量] タブで [デバイスの音量] の［ミュート］がチェックされていないことをご確認ください。

Q

テレビモードで映像と音がずれている。

A

- ほかのアプリケーションを実行していると、一時的に Navistation の処理が停止することがあります。この場合、[ポーズ] ボタンや [次のブックマークへ] ボタンをクリックし、再度 [再生] ボタンをクリックすると直ります。
- [画面のプロパティ]-[設定] タブで画面の色を [中（16 ビット）] に変更すると、改善されることがあります。
- メモリーに常駐するアプリケーションやドライバーによっては、Navistation の動作に影響を与え映像や音がずれることがあります。このような場合は、それらのアプリケーションやドライバーを外してください。
- デスクトップに Web ページを表示している場合、メモリーや CPU リソースを消費するために、映像と音がずれることがあります。この場合、デスクトップに Web ページを表示しない設定にしてください。

Q

Navistation の実行中にゲームなどのプログラムを実行すると、パソコンが応答しない。

A

Navistation は、Windows の DirectX 機能を使用しています。DirectX では、全画面アプリケーションは一度にひとつしか実行できません。DirectX を使用したアプリケーションを立ち上げるとパソコンが応答しなくなる場合があります。

Q

DVD を再生できない。

A

DVD が正しく挿入されていることをご確認ください。
DVD タイトルにはリージョンコードと呼ばれる地域別の視聴制限情報を付加したものがあります。
本製品はリージョンコード 2 に対応しています。国外で購入した DVD タイトルなど、リージョンコード 2 に対応していないものは再生することができません。映像方式は NTSC のため、NTSC 仕様以外の DVD タイトルは再生できません。

参照
[ポーズ]、[次のブックマークへ] ボタンについて→ 2 章の「番組を一時停止する／解除する」

参照
変更方法について→電子マニュアル『パソコン応用』1 章の「ディスプレイを調整する」

Q

電子番組ガイドが途中までしか表示されない。

A

正しく受信できなかった可能性があります。もう一度、受信し直してください。

参照
受信の方法について→ 3 章の「電子番組ガイドを受信する」

Q

電子番組ガイドが取得できない。

A

インターネットに接続しているかご確認ください。インターネットに接続していないと、電子番組ガイドは受信できません。インターネットの接続については、『始めよう！インターネット』または『困ったときの Q&A』の「インターネット使用中のトラブル」をご参照ください。

参照
受信の設定について→ 1 章の「受信するチャンネルを選ぶ」
受信の方法について→ 3 章の「電子番組ガイドを受信する」

Q

録画予約したのに、録画できない。

A

電源コードが接続されているかご確認ください。電源コードが接続されていないと、パソコンが自動で立ち上がらないため、録画できません。
パソコンをスタンバイや休止状態にして予約録画をする場合には、[電源オプションのプロパティ] 画面－ [詳細設定] タブの [スタンバイから回復するときにパスワードの入力を求める] のチェックを外してください。

Q

パソコンが勝手に立ち上がった。

A

次の場合に、パソコンは自動で立ち上がります。
- 録画予約をした場合
- メール着信を表示している場合

Q

リモコンで操作できない。

A

- リモコンとリモコン受信部との間に障害物がないかを確認します。
  障害物がある場合は、取り除きます。
- 動作可能領域内で操作します。パソコンのリモコンは、
  発信部をディスプレイのリモコン受光窓に向けて 5m 以内、左右± 15 °、3m 以内です。
- 電池が消耗している可能性があります。新しい電池に交換してください。

A

- Navistation のウィンドウをクリックしてください。または、リモコンの [TV]、[EPG]、[DVD]、[ビデオ] ボタンのいずれかを押して、Navistation をアクティブにしてください。

Q

外部機器から映像を取り込みたい。

A

ビデオ入力を行う場合は、ビデオを一時停止の状態にしてから Prius Navistation で S 端子入力、またはコンポジット入力を指定してください。

参照
外部機器の接続、映像の取り込みについて→ 7 章の「映像データを収録、編集、保存しよう」

Q

携帯電話で録画予約ができない。

A

携帯電話で録画予約するときには reserMail が起動している必要があります。reserMail は、定期的に予約情報を取りに行きますが、パソコンがスタンバイや休止状態になっていると予約情報を取りにいくことができません。携帯電話で予約をする場合には、パソコンがスタンバイや休止状態にならないように設定してください。

Q

スクリーンセーバーが動作してしまう。

A

TV や DVD を長時間見ていると、スクリーンセーバーが動作してしまう場合があります。このような場合は、スクリーンセーバーの設定を [なし] にしてください。

その他、以下の項目をご確認ください

- 製品添付のソフトウェアに関する情報は、各アプリケーションの提供元のホームページをご覧ください。
- 録画フォルダーやタイムシフトのバッファーフォルダーには、書き込み権限のあるフォルダーを指定してください。デフォルトは共有ドキュメントのフォルダーに入っています。
- ライブラリ機能は各ユーザーごとに別々に情報を保存します。録画フォルダーが共有ドキュメントにある場合は、録画ファイルからライブラリの更新ができますので、録画フォルダーで更新してください。
- Prius Navistation で録画した MPEG2 ファイルは、Prius Navistation で再生してください。Windows Media Player では再生できない場合があります。
- Prius Navistation、および、SoftDVD MAX で DVD を再生できますが，SoftDVD MAX をアンインストールすると Prius Navistation で DVD の再生ができなくなります。SoftDVD MAX のみをアインストールしないでください。

付録

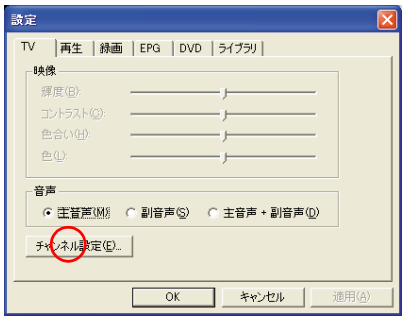
引っ越したときは

引っ越しなどをして、お住まいの地域が変わった場合や、受信するチャンネルを変えたい場合はチャンネルを設定し直します。

1 [設定] ボタンをクリック

▼[設定] 画面が表示されます。

2 [チャンネル設定] ボタンをクリック



▼終了を確認する画面が表示されます。

3 [OK] ボタンをクリック

[チャンネル設定ユーティリティ] 画面が表示されます。このあとは 1 章の「受信するチャンネルを選ぶ」をご覧になり、設定してください。

テレビ朝日系列局一覧 (2002 年 4 月現在)

北海道テレビ放送 (北海道テレビ放送株式会社)	HTB
青森朝日放送 (青森朝日放送株式会社)	青森朝日放送
岩手朝日テレビ (株式会社岩手朝日テレビ)	岩手朝日テレビ
東日本放送 (株式会社東日本放送)	東日本放送
秋田朝日放送 (秋田朝日放送株式会社)	秋田朝日放送
山形テレビ (株式会社山形テレビ)	山形テレビ
福島放送 (株式会社福島放送)	福島放送
テレビ朝日 (全国朝日放送株式会社)	テレビ朝日
新潟テレビ 21(株式会社新潟テレビ 21)	新潟テレビ 21
長野朝日放送 (長野朝日放送株式会社)	長野朝日放送
静岡朝日テレビ (株式会社静岡朝日テレビ)	静岡朝日テレビ
北陸朝日放送 (北陸朝日放送株式会社)	北陸朝日放送
名古屋テレビ放送 (名古屋テレビ放送株式会社)	名古屋テレビ
朝日放送 (朝日放送株式会社)	ABC テレビ
広島ホームテレビ (株式会社広島ホームテレビ)	広島ホーム
山口朝日放送 (山口朝日放送株式会社)	山口朝日放送
瀬戸内海放送 (株式会社瀬戸内海放送)	瀬戸内海放送
愛媛朝日テレビ (株式会社愛媛朝日テレビ)	愛媛朝日テレビ
九州朝日放送 (九州朝日放送株式会社)	KBC
長崎文化放送 (長崎文化放送株式会社)	NCC
熊本朝日放送 (熊本朝日放送株式会社)	KAB
大分朝日放送 (大分朝日放送株式会社)	OAB
鹿児島放送 (株式会社鹿児島放送)	KKB
琉球朝日放送 (琉球朝日放送株式会社)	琉球朝日放送

用語集

英字

■ C

CD-R
コンパクトディスク（CD）をコンピュータ用の記憶媒体として使ったもの。12cm のディスクに約 650MB の情報を書き込むことができる。

CD-RW
RW は ReWritable の略。基本的なメカニズムは CD-R と同じだが、一度しか記録できない CD-R に対し、CD-RW は約 1000 回の消去、書き換えができる。

■ D

DVD
大容量光ディスク。

DVD-RAM/R
DVD-RAM は、書き換え可能な DVD の規格。DVD-RAM の記憶容量は片面 2.6GB、4.7GB、両面 5.2GB、9.4GB。DVD-R は１回のみ記録可能な DVD の規格、DVD-R の記憶容量は片面 3.95GB、4.7GB。

■ N

Navistation
テレビ映像、録画した映像、DVD プレイヤー、CD を視聴したり、電子番組ガイドなどを見たりするためのアプリケーション。

■ U

UHF
限られた地域での放送（ローカル放送）で使われる電波のこと。

■ V

VHF
FM 放送や VHF テレビ放送（NHK など）で使われる電波のこと。

五十音

■ さ

スタンバイ
節電機能の一種。一定時間キー入力やマウス操作をしないと、CPU が一時停止し、ディスプレイとハードディスクが節電状態（消費電力が低下する）になる。

■ た

タイムシフト機能
現在放送中の番組を一時停止したり、巻き戻したりすることができる機能。

チャンネル設定ユーティリティ
テレビチャンネルボタンに、どのチャンネルを割り当てるかを設定するためのプログラム。

電子番組ガイド（ADAMS-EPG）
パソコンで見ることができる、新聞のテレビ欄のようなもの。ADAMS のサービスのひとつ。

ドルビーヘッドホン
ヘッドホンを接続して、あたかも映画館で聴くような立体的な音声を、ヘッドホンから聴くことを可能にした技術。

■ は

パケット
いろいろな情報をまとめて、一定の大きさとしたもの。

ブースター
放送用の電気信号などを増幅する機器。

ブックマーク
好きなシーンがすぐに見られるようにするための機能。本にはさむ「しおり」のようなもの。

フォルダー
データやプログラムを整理してまとめておく入れ物。

■ ま

右クリック
マウスの右側のボタンをクリックすること。クリックするとメニューバーの内容の一部が表れる。通常のメニューでも同じ操作ができるが、右クリックを使ったほうが速いことが多い。

ミニ TV 表示
Navistation の画面表示を小さくした状態。

さくいん

A

ADAMS-EPG 24

C

CD 36
CD-R 52

D

DirectX 71
DVD 32, 49
DVD-RAM 52

E

EPG 24, 25

N

Navistation 70

P

Prius Navistation 6, 11

T

TV 47

U

UHF 8

V

VHF 8

い

一時停止 17, 48, 71

お

オーディオ 49
オートスキャン 7

く

クリック 35

け

検出結果 7

こ

コマ落ち 70

さ

再生 17, 30, 47
再生スピード 17, 47

し

視聴者管理 50
周期 27

す

スタンバイ 29

た

タイトル 27
タイムシフト 10, 48
タイムシフト機能 17
タイムシフト再生 71
タスクバー 23

ち

地域選択 7
チャプター 34
チャンネル 27
チャンネル設定ユーティリティ 6, 78

つ

次のブックマークへ 14
次へ 15, 34

て

電子番組ガイド 14, 23

に

2 カ国語放送 47

は

パスワード変更 50
早送り 14, 17, 41

ふ

ブースター 11

フォルダー 30
ブックマーク 13, 18
プリセット 8
ブロックノイズ 70

ほ

ポーズ 13
ボリューム 13, 15, 37

ま

前のブックマークへ 14
前へ 15, 34
巻き戻し 14

み

右クリック 79
ミュート 13, 15

よ

予約一覧 26
予約取消 26

ら

ライブラリ 30, 38, 50
ライブラリモード 41

ろ

録画 22, 48
録画開始日 27
録画時間 27
録画予約 25, 48

わ

わくわくナビ 6, 41

重要なお知らせ

1. 本書の内容の一部または全部を無断で複写することは、禁止されています。
2. 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容について、万一ご不審な点や誤りなどお気付きのことがありましたら、お買い求め先へご一報くださいますようお願いいたします。
4. 運用した結果の影響については3項にかかわらず責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

・ADAMSは、テレビ朝日データ株式会社の登録商標です。
・Dolby、ドルビー、Prologicおよびダブル D記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
・その他の製品名、テレビ局名、ネットワークおよび各種連盟識別名と、各局が放送する番組名はすべて、それぞれの所有者の著作権および登録商標／商標です。

始めよう！ TVエンターテインメント

初　版　2002年 4月

無断転載を禁止します。

落丁・乱丁の場合はお取り替えいたします。

株式会社　日立製作所
デジタルメディアグループ
〒243-0435 神奈川県海老名市下今泉810 番地
TEL:0120-8855-96

Copyright© Hitachi,Ltd.2002.All rights reserved.

再生紙　このマニュアルは再生紙を使用しています。

PROC733P0-1

Prius Cモデル

3

始めよう！ ―TVエンターテインメント―

HITACHI
Inspire the Next

Prius
Cモデル

PROC733P0-1

PROC733P0-1